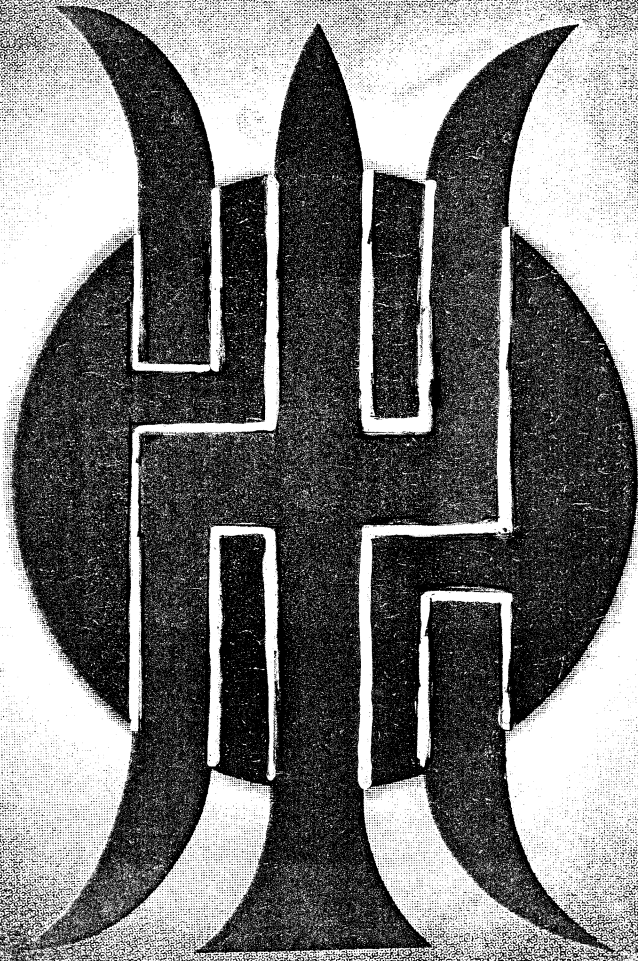


N.S.R.
機關雜誌

水泳



NO.
56

日本水上競技聯盟

N. S. R.

水 泳

No. 56

— 1938, 6. —

目 次

飯田光太郎氏追悼號

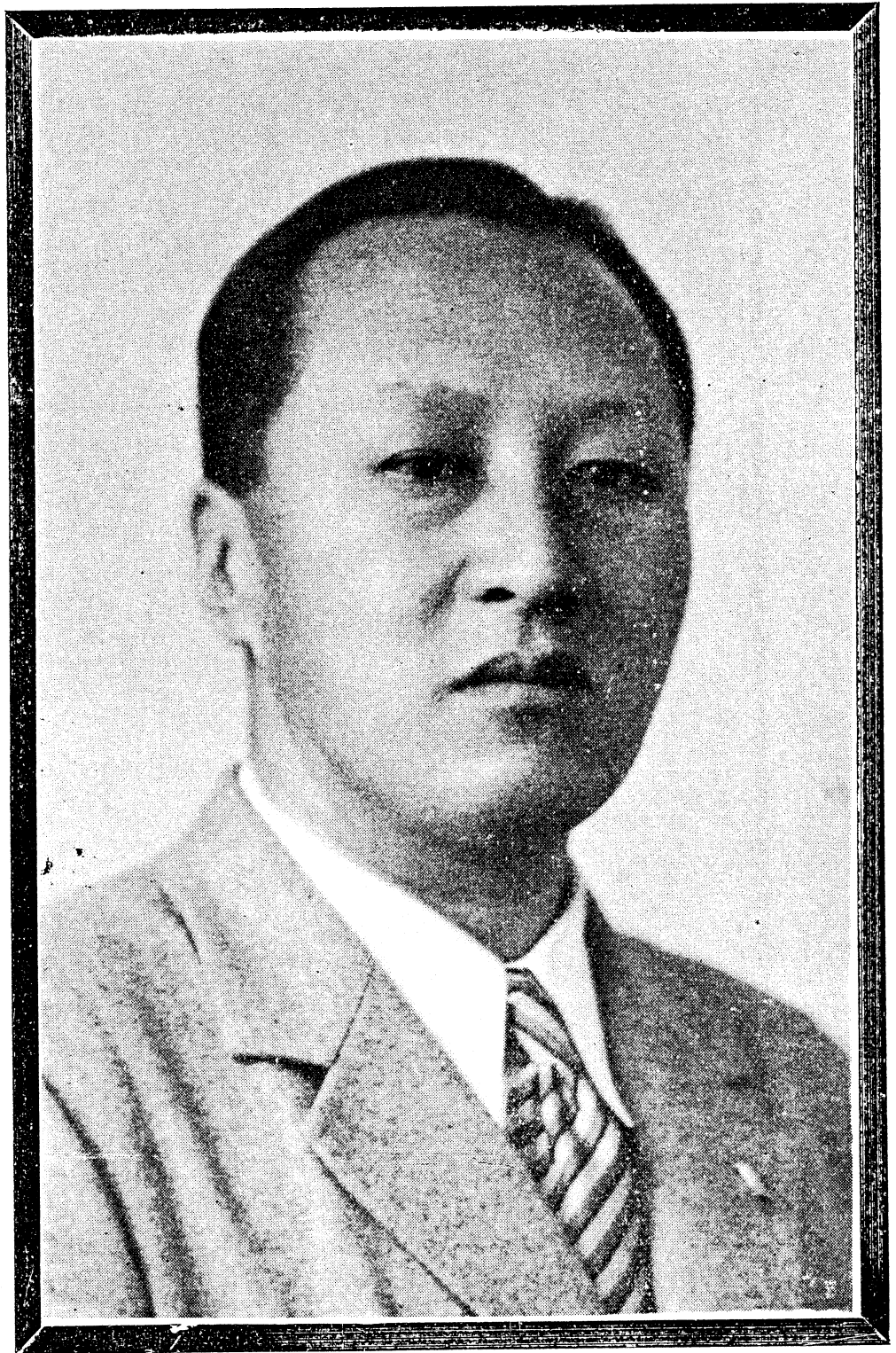
| | | |
|----------|----------------|--------|
| | 松 澤 一 鶴..... | (2) |
| | 末 弘 巖 太 郎..... | (5) |
| | 杉 本 傳..... | (6) |
| | 白 山 源 三 郎..... | (7) |
| | 本 井 功..... | (7) |
| | 堀 江 耕 造..... | (8) |
| | 鷺 田 成 男..... | (9) |
| | 飯 田 ち え 子..... | (9) |
| | 堀 一 郎 氏 外..... | (11) |
| 遺 稿..... | 故飯田光太郎氏..... | (13) |

| | | |
|-----------------------|---------------|--------|
| プール公認.....前號訂正..... | | (13) |
| 指導者協會欄..... | | (14) |
| 水泳指導研究會..... | | (15) |
| 全國中等學校選抜選手合宿練習報告..... | 川 合 嘉 助..... | (16) |
| 甲子園合宿練習記..... | 齋 藤 巍 洋..... | (18) |
| 春季合宿レコード會..... | 杉 本 傳..... | (21) |
| レコード會記録..... | | (21) |
| ペルーよりの通信..... | 清 瀬 亮 光..... | (22) |
| 女子合宿感想記..... | 菅 谷 初 穂..... | (23) |
| 女子合宿日記..... | 大 澤 禮 子..... | (23) |
| 男子，女子合宿感想記..... | 岩 田 務(外)..... | (26) |
| 關東に於ける三つの合同練習..... | 松 澤 一 鶴..... | (30) |
| 合同練習記録會..... | | (31) |
| 關東女子合同練習會..... | 須 藤 光 代..... | (31) |
| 終末練習會記録..... | | (33) |
| 聯盟議事録..... | | (34) |
| 聯盟日誌..... | | (35) |
| 水泳ゴシップ..... | | (36) |

昭和十三年競技日程

(太字は本聯盟主催)

| | | |
|-----------------|------------------------------------|--------|
| 五月下旬より | 關東學生水球リーグ戦 | (神 宮) |
| 六月五日 | 早慶對抗水上競技大會 | (神 宮) |
| 六月十二日 | 立日明三大學對抗水上競技大會 | (神 宮) |
| 七月卅一日 | 東部中等水上競技大會 兼日本中等水上競技大會豫選會 | (神 宮) |
| 七月卅、卅一日 | 西部中等水上競技大會 兼日本中等競技大會豫選會 | (甲子園) |
| 八月二、三日(夜間) | 女子中等學校水上競技大會 兼日本女子中等學校水上競技大會豫選會 | (神 宮) |
| 八月六、七日(晝間) | 關東選手權水球飛込競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會 | (神 宮) |
| 八月六、七日(夜間) | 日本中等學校水上競技大會 | (神 宮) |
| 八月十日(夜間) | 關東選手權水上競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會 | (神 宮) |
| 八月上旬 | 各地方選手權水上競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會 | |
| 八月前半中 | 各地方女子中等學校水上競技大會 兼日本女子中等學校水上競技大會豫選會 | |
| 八月十九、廿、廿一日 | 日本選手權水上競技大會 | (甲子園) |
| 八月廿一日 | 全國師範學校選手權水上競技大會 | (東京高師) |
| 八月廿六、廿七日(夜間) | 全國實業團選手權水上競技大會 | (神 宮) |
| 八月廿七、廿八日 | 日本女子中等學校水上競技大會 一般女子水上競技大會 | (振 浦) |
| 八月 | 全國小學校教員水上競技大會 | (神 宮) |
| 九月上旬 | 東京小學校水上競技大會 | (神 宮) |
| 九月九日(夜)十、十一日(晝) | 關東學生水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會豫選會 | (神 宮) |
| 九月 | 東海學生選手權水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會東海豫選會 | (振 浦) |
| 九月 | 關西學生選手權水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會豫選會 | (甲子園) |
| 九月十七、十八日 | 日本學生選手權水上競技大會 | (神 宮) |
| 九月下旬 | 關東學生水球トーナメント | (神 宮) |



謹
み
て

御生前の御高恩を謝し
御冥福を祈り奉る

日本水上競技聯盟

故 飯田光太郎氏追悼號

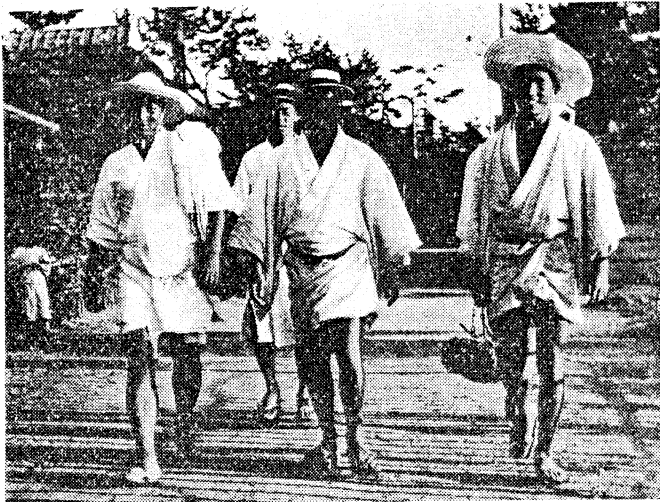
飯田光太郎氏略傳

松澤一鶴

飯田光太郎氏の追悼號に、氏の略傳を記すに當つて、段々と氏の水泳に對する仕事を想ひ出して見る

と、現代日本水泳界の活動の基礎時の問題には必ずその大きな部分を分擔して居られたのであつて、今更に同氏の足跡の偉大であつた事を再認識すると共に、その急逝と云ふよりは早逝が一層惜しまれてならないのである。

飯田さんは明治24年4月2日東京市本郷區西片町



北條にて 右より畑氏、梅澤氏、渡邊氏、飯田さん。

に建築家であつた慶次郎氏の長男として生れ、ごく近年に終焉の地となつた杉並馬橋の御宅に移るまでは西片町に續いて住んで居られ、こゝが水上競技聯盟創生期のヘッド・クォーターとなつて居つたのである。小學校は有名な本郷・誠之小學校で尋常科四ヶ年高等科二ヶ年と云ふ課程を経た。小學校の頃から肥つた大きな子供であつたさうだ。

續いて私立京華中學に入り、その二年生の夏(明37)近所の子供達に誘はれて所謂大川端、日本橋濱町河岸の神傳流日本游泳術研究會に行つて神傳流を習ひ始め、この事は翌年も續いて毎日本郷から濱町まで約6軒の道を歩いて通つたのでさうであるから、その頃から相當に水泳は好きであつたに違ひ無いのであるが、親戚から強硬に反對されて遂に二夏で中止の己む無きに立至つたと云ふ。

中學終了後すぐに其の夏一高二部乙類へ入學(明41)、大學は東京帝大理科大學實驗物理科へ入學(明45)、同科卒業と同時に再び工科大學電氣工學科へ入學(正5)したのであつたが、その年麴町にあつた久原系の金屬鑛業研究所技師を囑託せられたので、工科の方は退學で遂に學士號は理學士のみで終つた譯である。この高等學校大學時代に飯田さんのスポーツ、殊に水泳に對する基礎が確立されたのである。



飯田さんと佐々木さん、尙このボートは穂積教授の London みやげである。

高等學校時代には寧ろボート部で委員をした。43年には市河三録、佐々木救氏等と同じクルーで二部第一選手として優勝し、翌年も優勝旗をとつて居る。當時の一高水泳部は房州北條にあつて、飯田さんも一年の間から此處に行かれ、末弘、梅澤、佐々木の諸氏に指導を受けられたのである。一高一年の時、

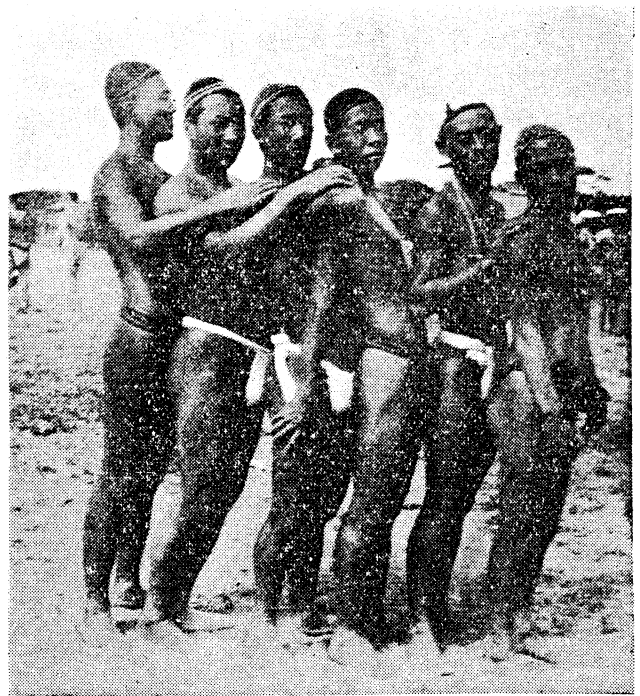
腸チフスで休學されたので、一高生活は一年長くなつた譯であるが、それは水泳界にとつては却つて水泳部生活を長くした事に於て幸福な事であつた。



病後の飯田さん

と云ふの

は當時の一高水泳部には梅澤、末弘、齊藤、佐々木救、阿久津、石本等の錚々たる諸氏が居て、當時の墮落して居つた各流派泳法にも嚴たる検討を加へてその正統を研究し改革運動を起しつゝあつたが、同時に梅澤、末弘兩氏の如きは水泳の將來は流派固守に止まらず、既にその雄ストックホルム・オリンピック



北條八幡にて 右より栖原氏、渡邊氏、佐々木さん、齋藤氏、飯田さん、阿久津氏。

ードに日本選手参加の空気を反映して競技方面の開拓でなければならぬ事を認識して居られ、その指導精神の下に若かりし飯田さんも刺戟され、一高高師主催の關東游泳大會にも競技部を確立して擔當し、大學入學後も房州の水泳部に來ては段々と所謂水泳ルネッサンス運動の重鎮となつて行つた譯である。

飯田さんの大學卒業後が日本運動競技界の黎明期であつて、丁度卒業して研究所入りをされる迄の間に芝浦で第三回極東大會があつた。その頃は競技の計測係は夏目漱石の三四郎の中の大學運動會の條を引合ひに出す迄も無い事であるが、常に理科大學生の引受ける所となつて居つたらしいので、飯田、石本さんあたり何れも動員されたが、面白い事に石本さんが水泳を飯田さんが陸上を計時したのださうである。又丁度その年に東京神田のYMCAに體育館プールが新設され、凡そ今日本水泳界で活躍した陰の人は皆このプールで泳ぎ廻り、梅澤、飯田、石本さんあたりが先輩格であり、又筆者の記憶に依れば飯田さんはそこで肥つた方の代表で、石本さんが瘦せた方の代表であつた。それからはこのプールに、この先輩連中と若い河童共が集つては日本の水泳界を握ね廻はし始めたのだ。

いろいろな事があつた。一つ一つに飯田さんを中心にした思ひ出があるが、その内でも最も大切な出來事は、大正10年夏に萬朝報主催で第一回インターカレッジ大會が開催され、それがきつかけとなつて自分達の水泳團體を作らうと云ふ事になり、翌11年から12年へかけて飯田さんを中心に屢々會合をやり、遂に12年に至つて末弘會長、梅澤副會長、飯田主事と云ふ幹部を戴いて、若い若い全國學生水上競技聯盟が成立した。

續いて翌年には神宮大會が始めて開かれる豫定となり、飯田さん一人二役の大活躍で學生聯盟が主唱して全國十三箇團體に呼びかけ、大日本水上競技聯盟創立の準備を開始し、その一つのステップとして御膝許に關東水泳協會の誕生も見た。14年に至つて規約も組織も整備され、飯田さんが正式に最初の主事に就任したので、その頃の西片町の御宅には學生聯盟と、關東水泳協會、大日本水上競技聯盟の三つの看板がかゝつて居つた。創生期の忙しさを總て引き受けられて居つたので、亡くなられてからのちる子夫人の述懐にも、當時結婚されたばかりで(正6年)、入場券だ招待状だと、宛名と判押しだけでも面喰ひましたとの事であつた。

水上聯盟が設立されてから、その目的の爲にもなすべき事は少くなかつたが、先づ最初の幹部連中が考へた事は、内に全國的組織を整備すると共に、外に對して大日本體育協會から代表權を獲得して完全

なる獨立を完成する事と、日本水上競技の世界的進出、即ち世界制覇の目標を定めた事とが最も大切なものであつた。代表權獲得の問題は茲に田畑君と云ふ闘士を加へ、世界制覇の第一歩としては世界水泳界の記録調査を梅澤氏の後を承けて、夫々飯田さんの分野となつて來たのである。

代表權獲得の問題は同時に大日本體育協會を改造して競技團體を中心とする組織にする事と深い関係があり、その経緯もなかなか容易な事ではなかつたが、結局水上聯盟の終始渝らぬ努力が報ひられて之に成功し、1928年(昭3)アムステルダム・オリンピック大會の折、飯田さんが日本代表としてFINA會議に出席し、そこで體協の岸博士との間に圓滿にヴォートの委讓の手續を濟ませて完成したのであつた。

世界制覇の事業は勿論各時代に於ける選手諸君の努力の集積である事は論を待たないが、その蔭にあつて常に之を力づけて呉れて居たのは飯田さんの克明な世界各國の記録調べであつた。動機は先に梅澤親光氏が世界の記録や水泳會の結果を調査して、小さな手帳に書き付けて居られたのが當時一番權威あるものであつたが、梅澤氏が大正11年に逝くなられた時に、此の手帳が紛失し大變に困つた事があつた。それから飯田さんが始められたのであつたが、梅澤さんの仕事に輪をかけた様な精密な努力的な調査であつて、重要な成績は殆どラツプタイムまでとつてあると云ふ様な有様であつた。1931年(昭6)、第一回日米對抗の折に米監督のキツパス君が、これを見て溜息をついて感心し、世界唯一の貴重なものだからどこかの信託の倉庫にでも保管して、火事に焼かれぬ様にしなさいとまで云つて居つた。

この調査のお蔭で日本水泳の實力が常にどの位の所にあるかを知る事が出來て、泳ぐ者にとつては非常な勵みとなつたものである。アムステルダムの第九回オリンピックに飯田さんが日本水泳チームの監督として乗込む事になつた時は、我が實力を十分に認識してかゝつた爲に、始めから自信を持つて張り切つて居つた爲に、遂に鶴田君をして二百米平泳に優勝せしめ、オリンピック水上種目に始めて日章旗を掲ぐるの快舉をなしたのを始めに、多くの優秀な成績を得て我々の血を湧かしただけでも飯田さんの大きな功績と云はねばなるまいが、その上記録上の統計とこの實戰の經驗とから飯田さんの齎らした更に貴重な御土産は、「此の次の羅府オリンピック大會に男子競泳は優勝出來る」と云ふ力強い言葉であつた。この報告に我々勇躍して遠征制覇の準備を始めた。「オリンピック第一主義」と云ひ「男子競泳第一主義」と云つたのも、この飯田さんの報告が實踐

されたまでの事であつたのである。

かうして水泳方面に活躍されて居ると同時に、仕事の方でも大正 10 年に金屬鑛業研究所が解散になつてから三井鑛山會社目黒研究所技師に移つて、浮游選鑛試験、硫黃試験、結晶、顯微鏡試験等を中心に最も實のある研究をして居られた。アムステルダム大會に行かれる爲に遂に鑛山研究所囑託となつて出掛けられ、歸朝後翌年は研究所をやめて終つたのであるから、水泳の爲に職まで犠牲にされたと云つてもよいのであらう。その後昭和 8 年に北辰電機製作所技師として再び就職したのであつたが、僅か數年で意見合はずして辭職されたのであつて、その後はたゞ水泳聯盟の爲にのみ盡されたと云つてよい。

更に飯田さんの業蹟を詳しく拾ふとなると優に一冊の書物に纏め得る事であらうが、一寸擧げるだけでも、古い頃では水球、飛込ルールの翻譯からその實施、毎年の水泳年鑑の編輯、プール公認事業の創始、その他の測定事業、日本の流派泳法の研究と日本游泳聯盟の改組、標準泳法の確立、我が水上競技會開催方法の組織化、明治神宮プールの設計及奉獻等、凡そ水上聯盟の主要な事業で飯田さんの息のかゝらぬものは無いと云つてよい位だ。

遺著としては昭和 3 年アルス版、飯田、杉本共著の水上競技の外は個人的の著書としては無い。盡く水上聯盟のものとして出版されて居る。その内でも大きいものは「水泳資料集成」と大日本體育協會史後編中の日本水上競技聯盟史とである。この二つは全く飯田さんの手に成つたものである。この外に雑誌水泳や年鑑も飯田さんに依つて編輯されて居る分が多くある。しかし飯田さんの書齋を整理して見たら、各方面の趣味、若くは研究の書に並んで、勿論水泳關係の立派な文庫があつたが、その内に遺稿として標準泳法の解説書、水泳史記録換算表、記録變遷史(昭 8 年版 N.S.R. 水泳便覽の實に詳しきもの)等の未完のものが澤山出て來た。従つて水泳に関する大著を心掛けて居られた事だけはよく判るのであつて、これがまともになかつただけでも返す返すも惜しいと云はなければなるまいと思ふ。

謹んで冥福を祈りつゝ筆を擱く。

飯田さんの追憶

末弘巖太郎

(一)

飯田さんを初めて知つたのは、明治四十一年房州

八幡の高一高水泳部であつたと思ふ。其頃既に肥つてゐた飯田さんに浮き質の體格で、自然足が比較的弱く、上手な游手には到底なりそうには思はれなかつた。中學時代には濱町河岸の向井流の教場で習つてゐたとか言つてゐた。

飯田さんが神傳流の游手として立派な游手になられたのは、其後に於ける異常な稽古と當時神傳流の復古的更生に腐心してゐた、故梅澤親光氏の教導によるのである。我國傳統の游方から、クロールの轉移時代には神傳流の游手として既に一家をなしてゐた。殊に片手拔が上手であつた。それも梅澤氏一流の片拔手で、當時一般に典型的な神傳流片手拔と考へられてゐた華麗なものに比べると、遙かに素朴な早い調子のものであつた。其後クロール時代に入つてから古い游手の中で最も早く且完全にクロールを體得した人は飯田さんであるが、これは梅澤氏一流の片手拔に熟達した爲めであると私は考へてゐる。其意味に於て飯田さんは我國游泳の傳統をクロール時代に傳へて、頗て世界に冠たる「水上日本」を築き上げるにつき最も功績のある人だと私は考へてゐる。

(二)

水泳聯盟の歴史を顧みて、最も苦しかつた時代は聯盟の獨立的存在を主張する爲めに、體協と喧嘩し神宮體育會と争つた時代であつた。今日になつて見ると體協と神宮關係の方々にも、多少濟まなかつたと思ふ點もあるが、あの鬭争を敢行した意氣こそ水上聯盟をして、今日あらしむるにつき最も有力な精神的基礎をなしたものであることを忘れてはならない。四面楚歌の裡に孤城を守つて一步も退くまいとする、あの當時の意氣と覺悟こそ其後吾々の仲間「水泳モンロー主義」と言つてゐるものの精神的基礎をなしてゐるのである。そうして此悲壯な氣持を確立し堅持するについて、最も力強い働きをした人は他ならぬ飯田さんであつた。當時若しも飯田さんのあの強い非妥協的な意氣がなかつたならば、私と雖も到底あの苦境を押し切ることは出来なかつたであらう。そう考へて見ると、飯田さんの吾聯盟に對する貢獻は、筆紙に盡し難い偉大なものがあるのである。此事は此頃の若い人の中には餘り知られてゐないから、茲に特筆して置きたい。

(三)

聯盟のタイマーとして記録係としての飯田さんの功績は、今更私が言はずとも公知の事實である。聯盟が當時世界の記録に關して精確な智識をもちながら、不斷の努力を以て世界の最高をねらふことが出来たのも其お蔭である。今日吾聯盟が世界に誇

り得べき優秀なタイマーをもつてゐるのも、飯田さんの厳格な非妥協的な指導のお蔭である。吾々が今日オリムピックを迎へつゝ、競技會の主催者として、全く他の助けを借りず、獨力で立派にやつてゆけると言ふ自信をもつと同時に、他國からの信頼をも受け得るだけの實力をもつに至つたことは、單に吾々の選手が強いと言ふことだけに原因するのではなくして、我聯盟の競技精神が飽くまでも科學的であり良心的であることに原因してゐるのである。吾々は今後と雖も聯盟の名譽の爲めにこの「科學的であり良心的である」態度を永久にもち續けねばならない。其事を思ふと、今日にはかに飯田さんを失つたことが我聯盟にとつて、如何にも大きな損失であるかを今更ながら深く深く考へさせられるのである。



スキ焼會 右より 末弘さん、梅澤氏、阿久津氏、渡邊氏、佐々木さん、齋藤氏、飯田さん。以上の寫眞は全部佐々木君の御提供になつたものです。

飯田さん！

杉本 傳

「飯田さんが亡くなつた」と、此れは本當に夢かと疑つた。

N. S. R. が創設された初め頃、梅澤親光さんが亡くなられたので、競泳のレコードだとかプールの長さなど、そんな數的の面倒な事に興味を持つて仕事をやつて呉れる人が、又とあるだらうかと思つたが、心配どころか梅澤さんの株をすつかり引繼いで、水泳レコードの權威となつて、水上日本を世界の上に築き上げるに、なくてはならなかつた大きな業績を残した飯田光太郎さんが、地元東京オリムピックを前にして不歸の客となられた事は、飯田さん自身もさる事ながら、我が水泳界に取つても大きな痛手である。

大正十二、三年の頃から水泳を通じて親しくして貰つて來たが、此の間例の時計と物差で随分厄介に

なつたのだつた。

昭和三年第九回萬國オリムピック大會がアムステルダムで開かれたとき、飯田さんは我が水泳チームの總監督として彼地に向つた。其のときの事である。競技會が數日後に迫つて來たとき、競泳選手は合宿して居る所が競技場から餘りに遠いので、其の練習に通ふ道で疲れてしまふと云ふので、會場近くで宿舍を捜す事になつたが、競技場近くは田舎で適當な宿屋が皆無であるので、素人屋に頼み込んで其々選手を分宿させねばならなかつた。私等は其時は飛込の練習を視なければならぬ關係上、競泳の人々より前から會場の近くにチームと距れて泊り込んで居た。飯田さんも急に皆と共に引越して來られて、私の泊つて居る方の家にやつて來られた、其れが晩であつたのと素人屋の事とて寢臺の用意がなかつた。其れで我々は代つて飯田さんを優遇する方法を講じやうとしたが、競技會眞近に選手をそんな事で心配を掛けてはすまぬと云つて、ソフアーの上で一晩寝られた。お蔭で私は氣の毒で其晩寝られなかつた事がある。幸ひ次の日から別室を明けて呉れて、充分休養をして貰ふ事が出來たので其のときは一安心した。選手に一寸でも良い成績を上げさせたいと云ふ一念の爲、此他随分眼に見えない隠れた骨折りをして居られる。

飯田さんが水泳界に残された業績を、引繼いで飯

田さんの精神を仕事の上にも表れるやうに N. R. S. では心掛けねばならない。其れが故人を本當に生かす方法であると信ずる。

飯田さんが居らなくなつたので（記録なんかの分野）をやかましく云ふ奴がないので都合が良いではない。

飯田さんを憶ふ

白山源三郎

「本郷區西片町十番地ほノ四號」と云ふ宛名は何回となく書いたものである。それは大正の終から昭和の初にかけてである。當時「全日本水上競技聯盟」と稱して居た現在の我 N. S. R. の看板は小さな木の表札となつて飯田さんの家の前にかゝつて居たのである。誕生間のない學生聯盟もたしか同じ境涯にあつたと思ふ。水上競技に關する事柄は十番地ほの四號へ手紙を出せば形付いたのであり、時にはお宅を訪れて母堂に言傳を御願ひすることもあつた。猶其上の事は知らないけれど、飯田さんが N. S. R. と學聯の生みの親の有力な一人である事は云ふまでもない。特に面倒な仕事を一人で引受けて今日ある基礎を作られた人である。此點だけは水泳人は否、我日本人は飯田さんに感謝をせねばならないと私は以前から心秘かに考へて居た。

飯田さんは頑固な人であつた。云ひ出したら後へ退かぬ人であつた。其程度が又尋常一様でなかつた。此點は飯田さんの缺點でもある。然し勿論大きな長所でもあり、日本水上今日ある爲に尠からぬ力となつた點でもある。水泳のレコードなども常に二、三年先を確信して居られた様である。單にホラでなく實現せねばならないものとして見込んで居られた。従て、其時の現在に於ては突拍子もない様に思はれた事が多い。平泳の二分三十秒臺などはベスト二分四十八秒位の時代から既に口にして居られ、吾々は何だか夢物語の様にしか聞いて居なかつたものであるが、氏は自信を以て主張された萬事此調子で、極端な強氣と云ふべきであつた。之が水上日本の發展に直接間接寄與しなかつたと云へないであらうか。

然し飯田さんの頑固は相當誤られた。忌憚なく云へば隨分其爲に嫌らはれもされた。私も何の時か飯田さんの排斥運動の尻馬に乗つて會長宅を訪ねた事を思ひ出す。冷汗なきを得ない。飯田さんは初志曲げず信ずるところを徹底的に遂行された人であつ

たのだ。

飯田さんは精力の人に秀れた人であつた。よくあれだけ細かい仕事を飽かず正確に進めて行かれたのである。レコードブックは餘りにも有名であるが、他にも飯田さんなればこそ出来上つた仕事が少ない。最近の飯田さんの遺業の大きいものゝ一つは日本水泳資料集成であらう。精細を極めた考證と整理に精根を打込まれたと云へる。此の本は飯田さんの此世への遺産の大なるものゝ一つである。其他、プール檢定制度の基礎、標準泳法、曰く何、曰く何、飯田さんの打込んで基を据へられたものは多い。

飯田さんは水泳については献身的であつた。水泳の爲には本職を顧みなかつたと云つてよい程度の熱心さであつた。三井鑛山に居られた時に、山の方へ轉任の話があると平然として「俺は水泳の方の仕事があるから行くわけには行かん」と云はれて動かれなかつたと聞いた。一寸普通の人では出来ぬ事である。そんな事から終に三井を辭される様になつたのではないかと思ふ。職業を犠牲にし、家族を犠牲にし遂には生命をも犠牲にされたのであると私は考へざるを得ない。吾等は心からの感謝をせねばならない。

飯田さんなき後、飯田さんと同じだけの仕事を日本水上の爲にする人は見出し難い。吾等非力乍ら残つた者全てが力を協せて、其力でせめて飯田さんの仕事の十分の一でも繼いで行きたいものである。之が飯田さんの靈を慰める唯一の途ではあるまいか。

（五月十日）

故飯田さんのことども

本井功

突然聯盟編輯部から故飯田さんのことを何にか書けと云はれたが、不意に申込まれて一寸考へがつかない。丁度兄弟のことを他人から批評しろと云はれる様なもので仲々云はれるものではない。人間は一緒に永く生活すればする程、短所長所がわからなくなるのではないかと思ふ。私と飯田さんとの関係も左様考へる次第です。

古い思出でと云へば、未だ私が立教大學に居たとき早大の小高賀茂君につれられて Y.M.C.A. の水泳部に入會したとき、プールで巨體を浮かせて四圍を壓して居た巨人に紹介されたのが、飯田さんを知る初めであつたのです。以來拾七年餘御指導と交際を

お願ひして來たと思ふと實に感慨無量のものがあります。今頭にうかんだ飯田さんの笑つた顔と、怒つた顔のエピソードを御話させていただきます。

(A)

或る日の Y.M.C.A. 水泳大會のとき、競技種目にブランヂと云ふのがあつて参加者に飯田さん、松澤、堀（高師先輩）の諸君と私で、最後の勝負をしたとき少しの差で飯田さんが優勝したのです。その時風呂に入り乍ら我々にうれしさうな顔して、勝利を喜び話をされた時の童心そのものゝ笑つた顔は今でも目に見えます。これも思出となりました。

(B)

次は私が學校を卒業して競技會の役員をする様になつてからです。或る大會に始めて飯田さん得意のタイマーの一員を命ぜられたときです。若き私は時々競技に夢中になり、タイムをとることを忘れてしまつたのです。其時主任の飯田さんに叱られ遂に怒つた顔で「君はタイマーより審判をした方がよい。タイマーはもつと冷靜でなければいかん」と云はれたことがありました。誠に至言だと今でも飯田さんの怒つた顔と一緒に思ひ出します。

× ×

我國水泳界の大恩人飯田さん今やなし。幽明境を異にすと雖も信ずる能はず、只々哀悼の念のみ、只來るべきオリンピック大會を見ずして逝かる誠に残念、天二ヶ年の命を氏に與へ給はらざりしを憾むのみ。噫々。（昭和十三年四月二十二日記）

飯田さんの印象

堀 江 耕 造

飯田さんにはじめてお目にかゝつたのは、辨天島で第二回全國競泳大會を開催した時だつたと思ひます。其時は梅澤さんも御一緒だつたのですが、當時の梅澤さんは、水泳理論家として自他共に許して居り、ポケットに收められた小さい手帳には、世界中の水泳の記録が詳細に記入されて居り、それを材料にして濱名灣の河童連を烟に巻いて居りました。

飯田さんの方は梅澤さんより長い、最近程太つて居なかつた。軀を白木綿を白糸で荒く縫ひ合はせた水着を上に着、下には白い半ズボンを穿いて、あの原始的なプールの縁に立ち、手には時計を握り占め、各競技の推移に注意深い目を注いで居られました。どつちかといふと黙々として、時々梅澤氏の快氣焔

に微笑を洩らしたり、横槍を入れたりして。

其後二三回續けて同大會にタイマーとして参加され、タイマーの概念を後輩に與へられ、濱名灣游泳協會の記録を全国的に認められるものにされました。

其内に日本の水上競技は年と共に盛になり、巴里の大會から、アムステルダムの大會へと、次第に進展の跡を見せて行きました。後者の方には飯田さんは水上軍の總監督で行かれ、次のオリンピックに於ける日本の制覇を確信し得たことは、既に世人のよく知る所であります。東都へ凱旋の途上、有志と共に一行を濱松驛に迎へた事がありました。其時停車時間をプラツトフォームに降り立つた飯田さんの眉宇には、四年後の羅府大會での制覇を暗示する色が現はれて居りました。氣のせいか一行の顔色も、アムステルダムの成績以上に張り切つて居たやうです。

羅府大會の前後から飯田さんとの接觸が次第に増して來ました。各種の競技會や、各所に新設されるプールに關する事項や、時計の事、スプリングボードの事、曰く何、曰く何と、種々なる指導をしていただき、時には臆面もなく隨分思ひ切つた愚問を發した事もありましたが、始終親切に明快に、解答を與へられ、啓蒙された事が多々ありました。従つて飯田さんの面影を偲ぶと、水上競技のエンサイクロペディアといった感を抱かせられました。

飯田さんは最初お目にかゝつた時から長軀の人でありましたが、近年幅もついて來ました。然しどういふものか他の人々と比べて血色のよくないのが氣になりました。さうかと云つて別に虚弱といふ事もない所か、競技會あたりで様子を見ると、多數の後輩に取りまかれて時計を握り占めながら、水を睨んで居る姿は確に競技會其ものに重味をつけるに十分でありました。飯田さんが時計を握つて居ると何故か安心が出来るやうな氣がしました。

飯田さんは代議員會や、評議會でもあまり多く辯ずる人ではありませんでした。然し言葉を發する時は押へる所をちゃんと押へて居た様です。論客ではないが、研究者であり、同様に實際家であつたのでせう。日本水泳術集成の如き大著も飯田さんの努力の結晶だと聞きましたが、成程とうなづかれます。

あれやこれやと思ひ出して見ると止め度もなく、飯田さんの在りし日の面影が浮んで來て、今尙親しくお目にかゝつて話をして居る様な氣がします。然し實際は最早神宮プールでも、各種の聯盟の會合其他でもお目にかゝれないのかと思ふと、何となく物足りなく思はれます。

大震災の頃

鷺田成男

僕に取つては、飯田さんの思ひ出は盡きない。だが一番印象に残るのは、インターカレヂの出来た頃である。

その頃の記憶を呼び起す爲めに、當時の連中が集つて座談會でも開き、各方面の材料を蒐集して置く方がよいだらうと云ふことを、昨夏、飯田さんから云はれた。日米水泳でも終つて、少し閑になつたら、やつて下さいと頼んで別れてから、暫くして飯田さんは病氣で寝つかれたことを聞いた。飯田さんの病氣が癒つたらやつて貰ひたいと思つてゐる中に冬になり、次いで思ひがけない訃報に接するやうになつた。こんなことになるなら、昨夏の忙しい中でも無理をして集つて貰つた方がよかつたのにと今更悔恨の念が湧いて来る。

梅澤さんが云つたのはもう十年前になる。それから飯田さんが幽明境を異にした。と考へるとなんとなく淋しくなる。二人ともに却々口は温順しいやうに見へて存外針を含んでゐて、ともすると感情を害するやうな點がないではなかつたが、何れも仕事はよくしたものだ。殊に飯田さんが、インターカレヂの出来た頃は黙々として、仕事をしてゐた。僕が丸善からアメリカのインターカレヂのハンドブックを探してくると、飯田さんは家へ持つて歸つて、一夜の中に翻譯して來た。恐らく徹夜して翻譯をされたのだらうが、恐ろしい熱意に燃えてゐたものだ。

關東大震災の翌日、飯田さんは僕の家に来られた。當時、僕は本郷赤門前に居り、飯田さんは一高前の西片町に住んで居られてお互ひの家が近いせいもあつたが、あの炎々と帝都が燃え盛る中に、インターカレヂ、インターミツドルをどうするかについて相談に來られたのだ。そしてここに記憶して置いて欲しいのは、インターカレヂの大會は第一回が三笠園、第二回調布上石原のプールで行はれ、第三回目の震災の年に始めて芝プールが出来、東京の中心で大會が開かれることになつてゐた。それにこの年から新しくインターミツドル大會とやるべく、募集を受けつけてゐたのだ。

飯田さんが來られて、第一に云はれたのは矢張りインターカレヂの話であつた。だが飯田んの話では之れでは却々にやれまいとのことであつた。僕は震災の日は家に歸つてからはそのまゝ外へ出ないので

何も知らない。「プールが残つて居ればやればよい、やつた方がよい」と云つたら、飯田さんは笑つて

「プールは確かに残つてゐるが、君神田から銀座、芝へかけては焼野原になつてしまつてゐる。プールだつて、その横の事務所は避難民で一杯になつてゐる。これはどうしたつて大會は出来ない。残念ながら今年は中止するより他はない」

と云はれた。だが僕は尙も頑平に

「でも、今から諦めるのは早い、もう少し考へてから中止するなり、やるなりしやう」

と云つたら、飯田さんは

「まあ一度、芝まで歩いて行つて見給へ、勿論どんだん未だ燃えてゐるから、餘程廻り道しないと行けないかも知れないが、それを見たらインターカレヂをやるとは思はないだらう」

と云つて歸られた。

だが、それから二、三日して又家へ來られた。そして

「駄目だらう、だがインターミツドルの書類の整理と、インターカレヂの規約改正だけは印刷して置いて欲しい」

と云はれた。だから飯田さんも、この震災ではあるが、大會がやれるなら、なんとかする。やれないやうでも、次年度になつて周章でないやうに、準備をすることを薦められた。

到々その年は中止のやむなきに到つたが、暮近くからはインターカレヂの會合もやれたし、規約の印刷もやり出した。思へばあの震災に、みんなが狼狽する中で、水泳のことを心配して居られたから、順調に物事を進められることになつたのである。

當時の諷爽たる氏の風采を思ひ起すと、轉た感慨に堪へないものがある。

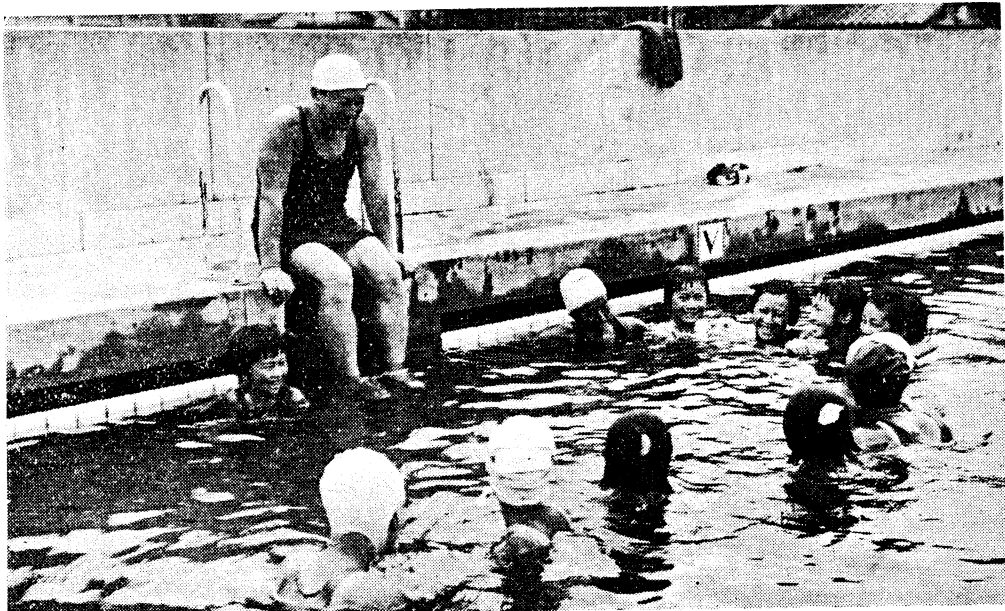
お父様の思出

飯田ちえ子

いつかの晩、丁度屋形舟が浮んでたのを覚えてますが、なんですか合宿所みたいな所で、窓から父がいろいろと話してた事がございました。今から考へますとオリムピックの爲の合宿だつたのではないかと思ふのですが、父母と喫茶部の前を通つた時、高石さんが土瓶を片手に赤い顔をして「先生今だけ見のがして下さい」とおつしやつて駆て向ふへいらつしやつたので、母が「どうしてお茶のんではいけ

ないのでせう？」とききましたら「中味はビールだよ、だまつてれば知らぬが佛なのに」と言つて大笑ひした事がありました。よく競技會のかへりに、十何年も前の事ではつきりとは覚えて居りませんが、たしか野田さんでいらつしやつたと存じます。ポスターを澤山かゝへて（インターカレッジのだつたやうに覚えて居ります）玉川電車の停留場にはりついたり、又家のそばの交番の掲示板に貼らしてもらつたりした事がございました。母が帝大前のおかめやでリボンを求めて作つた役員章がたりなくて、玉川へ行く途中よつて大急ぎで作らせた事もございました。入場券は水色と紫色と桃色のとが、こちらにこす前までは随分残つて居りましたが、あれに父と祖母と母と女中等で一家總動員してはんをおし、それをかはかすそばから百枚づゝ一ゆはきにしてゐるの

が、とてもうらやまして「おさせて、おさせて」とおねだりしたのですが中々許してくれず、やつとの事で一つだけおした時の嬉しさ「そんなに嬉しいのかい」といつた時の父のかほはまだはつきりとおぼえて居



女高師プールにて（東朝社蔵）

ります。母にきゝますと、ミシンのいれ方が悪いの、はんが曲つてるのと、散々お小言をいたゞいてばかりいたのださうですが、小さい私には何もかもが好奇心をそゝつたものと見えます。夏私が片瀬に行つて居りますと、時々きては泳いで行つたのですが、父と一つしよに海にはいると、きつと沖の方につれていつてははなして鹽からい水を澤山のますので、こはくてこはくて濱のかへりに東京から來た父にいますと、大勢ゐる従兄連のうしろにかくれるやうにしたものです。それでもみつかつて「おいちゑ子もう少し泳がうぢやないか」等と言はれるともうどうしてよいかわからなくてワアワア泣いてしまひました。父によく「ちゑ子の泣くのは片瀬の濱で評判だつたよ」等と言つてからかはれましたけど、いつも御自慢のいたごをもつて、大きなおなかでノツソ

リノツソリあるいていました。アムステルダムの時は、私は小學校の一二年だつたと思ひますが、父への手紙にきつとお人形さんを買つてきてちやうだいつて書いて、赤い鉛筆で二重丸をつけておきましたのに、一つもかつてこないのどつてもむくれた事がありました。あの時叔父と一つしよに旗を持つて横濱までむかへにまゐりました。汽車が來ますとはじめの方に、高石さんが出ていらつしやつて「お父さんは後にいらつしやいますよ」と教へて下さいました。父の所にまゐりましたら、古新聞の山の中にすはつてました。その時選手の方々が四、五人で寫眞を持つてらつしやつて「これが一枚一圓とは高いよ」つてお話していらつしやいました。家へかへつてから父がパリーからアムステルダムへ出發の時、家から弟の和雄が生れたといふ手紙を受けとつたの

で、選手の方々が飯田さんの所で男の子がうまれたから、今度はきつと日本が、優勝するだらうとおつしやつたといふ事をきゝました。私が女學校にはいりました年の夏、女高

師のプールで、お茶ノ水の方々に父がお教へ致しますのに一緒に連れてつてもらひました。その時からやつと泳げるやうになりました。午後になつて少數のごく熱心な方達や私達だけになりますと、うつかりしてると水をどんどんぶつかける。こちらは七、八人なのですが、とてもかなはなくてもぐつてにげやうとすると、つかまへられて水をのまされたりいたしました。やつと少しばかり泳げるやうになつた私に、どうしても千五百米泳がない中はあがらせないといふので、もうくたくたになつておなかはすくしくるしくはなるし、べそかいてしまつた事がありました。父には「これからのちもこんな長いレコードはおそらく出ないだらう」とからかはれてしまいました。それから女高師のプールではいくどもつからせていたゞき、ずい分いぢめられましたが、いろいろ

お友達も出来ましたせいか、みる事と同じやうにつかる方もすきになりました。父も水に親しむやうになつた私を随分喜んでくれたやうでした。ベルリンの時はもう勝敗によつて父のごきげんのちがふ事といつたらありませんでした。百等負けた時は放送が終つてかへつてまゐりましても、當りちらしたあげくさつさとねてしまふのですが、勝つたとなるともうすばらしいごきげんで、家中で夜おそくまで語りあつたものでした。最後の千五百で勝つて私達が國旗を出してさはいでましたら、丁度父がかへつてきまして「やあもう出したの」と如何にもうれしさがおさへきれないといつた圖でした。強氣なやうでゐて妙な事に氣をかける父は「このネクタイをしていつた時は、百でまけたからこれはもうしない」等といつてネクタイにまで氣をくばつて居りました。あの感激をもう一度でもよいから父に味はひさせたかつたとしみじみ思ひます。私が四年の冬休み、學校の課題で東京について何でも好きな事をしらべあげてくるやうにといふのがございまして、こまりました擧句水泳の事をおもひ思ひました。父に話しました所非常によい思ひつきだとほめてくれ、材料もいろいろとそろへてくれました。で「水泳より見たる東京」といふ題で、江戸時代からずうつとかきまして父に見せました所「よくこれだけにまとめあげたね、これからはお父さんの助手になつてもらはふかな」なんていつてました。代數やなんかきく時に聯盟の原稿用紙使ふととてもしかられたのですけど、あの時は相當使つたにもかゝらず、一つもお小言ちやうだい致しませんでした。かへつて「足りなければまだ澤山あるよ」等といつてました。東部のインターミドルの豫選の時に、祖母と妹がテンプルを見に行くので、私も一つしよに行かうとしましたら「君は水泳よりも映畫の方が好きなのか」といつておこつた父でした。競技會の前になると澤山時計をならべては、私達がそばによるとどなりつけた父、ベストテンをきめる時の私の並べ方がまちがへていたといつてはなぐつた父、なくなる直前、學校を休ませてまでもドイツ語の全然よめない私にむりに水泳の表を作らせた父、地震や火事等あつた場合、他の事はよいから石本さんから拜借してる史料だけは出すやうにと言つて、母から子供よりも水泳の方が大事なのですかと、皮肉られた父でしたけど本當によい父でした。學校のかへりに水泳を見に行きますとお辨當を持たしてよこしてくれたり、ポロやなんかの時にはあがつてきてキャラメルを持つて來たり細かい心づかひをしてくれました。何時も聯

盟のかへりがおそいので、朝直接父にきく時は何時もとんちんかんな返事で「ドイツのゲネンゲルをどうした等」必らず水泳に關してのねごとが五分間もつゞいて、やつとめがさめて教へてくれるやうなわけなので、毎晩わからない所やあやふやな所は紙にかいて枕許においておきますと、翌朝は丁寧な答やおなほしがしてありました。父と水泳とは一生離れられないものでしたけど、私達にとつても國際競技等のあつた時は、その勝敗によつて父のお天氣が變るので、何事も父本位の私の家では父と水泳が離れられない如く、私達にとつても非常に密接な關係がありました。東京大會を前に控へてなくなつたといふ事は、父にとつて何よりも心残りであつたらうと、せめてオリムピックがすんでからとそればかりが残念に存じます。父在世中は水聯の皆様には御交誼いただき、死後までもいろいろと御力ぞへ下さいまして有がたうございました。こゝに厚く御禮申し上げます。なほ弟もまだ幼うございまして、今後とも何分よろしく御願ひ申上げたく存じます。

飯田さんと云ふと

僕は直ぐに時計を思ひ出す。大會があると僕はいつも飯田さんの下でタイマーだつた。何時だつたか時計の話をしてゐた時、飯田さんが時計を押すのは、スターターのピストルの銃口の火でおさなくては駄目だと云はれた。その次の競技會で随分努力してみたけれど、僕にはどうしても火の次に出てくる煙がひろがつてからではおせなかつた。火でおすと云ふ飯田さんはもう亡くなつた。今後とも努力して飯田さんのやうになりたいと思ふ。(堀 一郎)

× × ×

飯田のピカさんと言へば“口の悪い人だ”と云ふので通つて居たが、實際人間の考へ得る最大級の悪口が、加之も次から次へと自由に口から出て來るのには皆驚いて居た様だ。これも氏が世情に深く、頭が緻密に出來て居たからこそのことで、常人にはとてもあれ程の悪口は三日考へても出て來つこないと思つて居る。當時カンカンになつて立腹した事もあつたが、今から思へば、就申氏の手傳をして居た私にはあの針でさす様な悪口が、なかなか役に立つた様である。(藤原 豊)

× × ×

飯田先生突如御永眠なされた事を新聞紙上で拜見して、餘り急な事にたゞ呆然としてしまいました。女子水泳界には特別何かと御盡力下さつただけに、一しほ寂しく感ぜられます。せめて東京大會迄……と先生御生前の御功績を鑑みて、感慨無量の感が御座います。あの飯田先生特有の笑ひ聲。或ひはアメリカ遠征前苦しい練習をさせられて、病氣になつて下さればいいのにと、たわいもない幼稚な考へを起して我儘を云つた事等、今更ながら申譯なく思つて居ります。競泳の時、眼の色を變へて時計と睨みつこして居られた其の面影を思ひ浮べられるにも、まだ此の間の様な氣がしてどうしても信ずる事が出来ず、シーズンになれば又お會ひ出来る様な氣が致します。

今後先生からお教へ頂いた數々の事等、思ひ出して先生の御高德をおしのびすると同時に、安らかな御冥福を心からお祈りし、日本水泳界の向上をお守り下さる様にお願ひ致します。(菅谷 初穂)

× × ×

飯田先生！ 待ちに待つたオリンピックも日本で開かれようとして居りますのに、先生は逝つておしまひになつた。先生の立派な體軀と共に、いつも離れることのなかつたあの大きなガバンも、日本水泳會にとつて大事な記録の寶庫として、そして先生の心をこめた水泳界へのお形身として残されたのでした。おなつかしい先生！ 女子水泳のためにも本當にお忙しい中御指導下さいました。私達は先生のお心に報ゆるためにも、懸命にやらねばならないと思つてゐます。時計の持ち方から教へていただきました。そしてまたお叱言もいただきました。新記録の出る度に緊張の中にも、嬉しいにこにこの顔の先生が目につく様です。先生の御冥福をお祈り申しあげます。(野口 徳子)

× × ×

プールへ顔を出す様になつてから試合毎に豊かな體格の御仁が、何時も競泳ばかりでなく、飛込の採點法の事までも、相當氣をつかつて色々見守つていらしたのを拜見して、何方だらうと、ソツと飛込の役員殿に伺つた處、それが今は亡き飯田先生でした。「もつと氣前よく點を上げたらいいじゃないか、出し惜しみしてる様で變だよ」となんだかの試合の折、水谷先輩をつかまへて話してゐられた童顔の先生の目なざしが今も目に浮ぶ。東京大會迄御健在でゐてほしかつた。(大澤 マサ代)

× × ×

飯田先生がお亡くなりになられた新聞で知つて、

一番先に思ひ出した事は、伯林オリムピック大會より歸つたその日その夜、植木屋の二階で座談的に、大會の感想をのべて下さいと、せまい室にどつかと陣取られて、私等飛込グループと呼ばれて、おつしやつたあの時程殺生だなどと思つた事はなかつた。

折角 TATAMI の上で、うるさい連中から解放されてぼーとしてゐただけに……

併し良い先生だつた。せめてせめて東京大會を見て戴きたかつた。否、先生の偉大な體を競技審判臺に見出しかつたが……

はるかに御冥福を祈ります。(大澤 禮子)

× × ×

關東水泳協會女子部 御中

前略御免下さいませ。

先日家からの便りで、飯田先生が御不快でいらつしやる事を知り、あのお立派なお身體で等と思ひ御見舞申上げませうと思つて居りました所、昨日御他界なさいました事を伺ひ、本當に驚いてしまいました。

昨日は御來客のお手傳ひで忙しいまゝに思はず時を過してしまいました。今靜かに落ち着いて見ますと、昨年春以來、丸ビルの事務所や Y. M. C. A の講習會等で、色々御指導願ひました頃の事が思ひ出されます。あの頃は大きなお身體で、お目を細くにこにこなさりながらお話下さいました。昨夏全日本の選手權大會の時、生れて初めて計時員となつて、第一日目は失敗だけでしたが、別にお叱りも受けず、明日はもつとしつかりやらなければ、と自分で自分を叱つたり致しました。其の後、神宮大會の折には通告を致しましたが、其の時「此の間の第一日目は悪かつたが、二日目、三日目は大變よかつた。あれなら大丈夫だ」とおほめ頂いた時は、本當に喜んだり致しました。多分私にとつては、あれが先生の最後の御言葉だつたかも知れません。其の外通告について二、三注意を受けましたが、その頃の私には、先生が後日御病床にお就きにならう事さへ考へられませんでした。

四十日の海路を遙々越えて來た私には、祖國よりの訃音は一層淋しく感じられます。

時々スタンドでお見掛け致しました先生のお嬢様方も、さぞお力落しの事でいらつしやいませう。

水清きレマン湖畔より遙かに先生の御冥福を御祈り申し上げます。かしこ

四月五日

壽府にて 須藤 菊代

遺稿

故 飯 田 光 太 郎 氏

味 の 完 成

病気でしばらく寝てゐる内、果物の汁をよへ飲む。大體が林檎と蜜柑だ。林檎も紅玉のある内は、あまい内にリフレッシュな所がある。別に問題にもならなかつたが、其紅玉が味の完成点に入つてしまふとリフレッシュな所が少なくなつてしまふ。之に代る國光種は甘み一點張りで味も風味もなくそんなのは病人の好みでない。

蜜柑はどうか、相當よく出来たのを一房味つて見たが、何れも立派な味だ。どの房もどの房も皆完成点に達してゐる。誠に美事な成熟振りで生産の努力に驚かされる。然し四五房目からは同じ味なので嫌気がさしてしまつた。甘味は感ずるがうま味は少しも感ぜられない。總べての果物がこうだと云ふのではない。此二月末の現状でリフレッシュメントに困つてゐる。

桃、杏(ハタン杏類、莓、櫻桃、柿、樽柿、葡萄、瓜類、フロン、西瓜、無果子、木莓、桑などは大體味の完成に至つても變化がある。甘味一點張りでない。偶然蜜柑の統制的完成味を味はされて甚だ有難迷惑をしてゐる。

時計の正確なる検定法

時計を正確に調べるには、どうしても銚子と船橋から午前十一時と午後九時に発信される日本式時報

によつてと誤差を調べ、十一時と九時の間の遅速を調べなくてはならない。

放送時報十二時と九時半でも大體調べられない事もないが、十分の一秒の誤差があるのであまり正確とは云へない。

銚子の周波数は 500、船橋は 47.2 である。

日本式時報は十一時又は九時より三十秒から始る。即-----|-----|-----|の連続で55秒迄行き5秒間休止の後正確に1分か5秒間——を出し之が正式時報なのだ。30秒迄休止、1分30秒から-----で55秒 進んで5秒間休止2分から1秒間——(正式時報)2分30秒迄休止、2分30秒から-----と云ふ記號が2分55秒出て5秒間休止、3分から1秒間正式時報が出る。尙3分5秒から15秒迄10秒間長符信號が出て終了を示す。一般は銚子を聴くのが便利で船橋の方は周波数の關係で受信機の製作が困難であるが電力が強大であるから又平な點もあらう。日本式時報は銚子と船橋と兩方が発信されるが、船橋からだけ學用時報が発信される。之は平均太陽時の1分に61の間隔で報時器から短符信號を出すものである。第1、第62、第123、第245、第306の長符信號の初頭は丁度午前10時及び午後8時の01分、20分、30分、40分、50分、午前11時0分0秒0又は午後9時0分0秒0と云ふ時刻を示す。最後の正式時報の後に5分から15分迄長符信號を送つて終了を示すは日本式同様である。此學用時報の面白い點は60秒に61の信號が出るのでヴァーニヤの如き作用をしてクロノメーターを驗査する場合甚だ都合がよい。

(松澤さんの御骨折により、漸くのせることができました)



プ ー ル 公 認

| 公 番 | 認 號 | 名 稱 | 長 さ | 場 所 | 公認日附 |
|----------|-----|----------------|--------|--------------|-----------|
| 75 | | 吳市土肥女子學園プール | (50 m) | 吳市鹿田町葛籠 | 13. 3. 30 |
| 76 | | 清水市立清水商業學校プール | (50 m) | 清水市入江字原下 | 13. 3. 30 |
| 14 (再公認) | | 神戸市民運動場プール | (50 m) | 神戸市林田區蓬宮通5丁目 | 12. 6. 4 |
| 77 | | 松中プール | (50 m) | 愛媛縣松山市持田町 | 13. 5. 4 |
| 78 | | 今治中學校競泳池 | (25 m) | 愛媛縣立今治中學校内 | 13. 5. 24 |
| 23 (再公認) | | 十週年記念三重高農競泳池 | (25 m) | 三重縣津市上濱町 | 13. 4. 25 |
| 79 | | 川崎各勢原綜合運動場合競泳池 | (25 m) | 岐阜縣稻葉郡那加村 | 13. 5. 24 |

(訂 正)

- 55 號誌 p. 2 400 m 男子背泳日本最高記録を次の如く訂正
5: 23, 2 吉田喜一 (早大) 東京帝大 25 m 11-4-11
- 同 p. 3 200 m 女子背泳最高記録を次の如く訂正
(3: 09, 2) 小田アイ (筑紫女) 祇徳院 25 m 11-9-20

指 導 者 協 會 欄

水泳指導者協會創立總會

昭和13年4月22日(金)午後4時神田一ツ橋國民體育館に於て創立總會を開催す。

當日正會員側の出席40名同委任狀提出者約52名にして其他は通信の關係上當日の間に合はざりしを遺憾とす。

末弘聯盟會長先づ起ちて本協會の誕生が國家元氣の振作に至大の貢獻あるべきを説き、本日その創立總會を見るは欣快の次第なりと述べらる。

次で普及委員長代理として松澤一鶴氏登壇創立總會議長として議事を進行す。先づ會則を一讀し之れが賛否を諮り、全員之に賛成す。次で會則に基き幹事長指名の幹事を左の通り決定す。

幹 事 長

(會則に據り普及委員長) 石 本 巳四雄

| | |
|-----|---------|
| 幹 事 | 松 澤 一 鶴 |
| " | 渡 邊 延 |
| " | 小 林 高 志 |
| " | 能 崎 文 雄 |
| " | 小 木 會 宏 |
| " | 吉 田 勝 平 |
| " | 石 井 廣 一 |
| " | 鹽 田 粹 |

本年度定期總會を7月開催することに決定議事を終了す。

厚生省兒玉體力局長代理緒方事務官本協會の成立を祝し、指導者諸者によりて國民皆泳の實を擧げ、我國が常に水泳に於て世界に冠たると共に、雄健なる精神を此の國寶的體育によりて完成すべく、各位の努力を切望する旨説示あり。

右にて一先づ創立總會を結了し、午後6時より如水會館に於ける懇談會に移る。

如水會館に於て一同會食の後「オリムピック」映畫並に水泳技術の映寫を觀賞したる後、懇談會に移り各自5分間の自己紹介にて一巡し9時過ぎ散會す。

以上の外懇談會に於て、松澤氏の水泳指導研究會

の計畫梗概説明並に水泳指導者協會の事業として、技術的方面の最も實際的なる文獻の作製を急務とすること、及び左近允氏の指導者協會を名實共に全國的として、東京のみの協會とならざる希望等ありたり。

當日の出席者次の如し。

| | |
|------------|-------------|
| 厚生省 體力局長代理 | 緒 方 事 務 官 |
| | 能 崎 體 育 課 員 |
| 聯 盟 側 | 末 弘 會 長 |
| | 松 澤 一 鶴 |
| | 渡 邊 延 |
| | 小 林 高 志 |
| | 笹 島 彦 次 郎 |
| | 猿 橋 清 |
| | 柳 田 亨 |
| 正會員側 | 吉 田 勝 平 |
| | 三 宅 與 一 |
| | 内 藤 徹 |
| | 佐 藤 彌 市 |
| | 分 林 健 兒 |
| | 石 井 廣 一 |
| | 木 村 耕 三 |
| | 河 野 日 出 雄 |
| | 安 達 誠 |
| | 稻 村 新 太 郎 |
| | 岡 田 幸 雄 |
| | 中 村 恭 治 |
| | 稻 田 千 年 |
| | 米 谷 義 郎 |
| | 高 木 正 孝 |
| | 山 田 喜 作 |
| | 足 立 保 三 |
| | 左 近 允 正 矩 |
| | 兼 信 雅 子 |
| | 鹽 田 粹 |
| | 辻 諄 |
| | 飯 島 廉 平 |
| | 豐 田 和 知 |
| | 田 頭 亨 |
| | 木 村 勝 雄 |
| | 磯 井 義 正 |
| | 低 藤 芳 善 |
| | 宮 内 重 次 郎 |
| | 富 田 國 男 |
| | 鈴 木 佐 市 |
| | 出 口 直 臣 |
| | 後 森 福 |
| | 石 見 善 作 |
| | 福 士 直 次 郎 |
| | 増 田 勇 |
| | 千 金 良 辰 男 |
| | 本 田 元 央 |
| | 中 野 守 一 |
| | 星 文 雄 |
| | 長 岡 淑 子 |

水泳指導研究會

水泳指導研究會要項

世を擧げて總動員の秋、その第一に人的資源の整備を圖らねばならぬのであるから、國民體位の向上も厚生運動の強化も皆必然的の國家的要望である事は言を待たない。茲に於て我々スポーツ關係者が斯道に精進する事は、従前より以上の重大な意味と價值を持つ事になつたのである。我々はおのづから國民皆泳水泳報國の指導的立場に置かれて居る事を自覺し、又從來も此の線に沿ふて微力を盡し來つたものであるが、一層此方面の急速度展開が期待されて居る今日内に顧みて我が水泳の指導機關の微力と人材の不足を痛感せざるを得ない。事茲に至らしめたのは從來の師範教育に於て水泳指導を輕視し來つた事等は最も大きな原因の一つであらうが、今之を論議して居る時機ではあるまい。我々は微力乍ら我々の手で一步前進しなければならぬ。此が今回我々が水泳指導研究會を設置して、將來我々と緊密な連絡をとりつゝ水泳高級指導の大任に當つて頂く方を養成しやうと決心するに至つた理由である。しかも茲に力強い事は厚生省の絶大なる後援を得た事であつて、その爲に漸く實施の可能性を視るに至つたのは感謝に堪へない。

我國に於ける水泳指導の分野は殆ど處女地と云つてもよい位未開拓の状態である。それだけに荆棘の道も多からうが、輝かしい將來の希望も燃えてゐると信ずる。敢て我々と志を同じうする士に呼び掛けて参加を乞ふ次第である。

昭和 13 年 1 月

日本水上競技聯盟

講師及役員（順序不同）

| | |
|---------|---------|
| 末 弘 嚴太郎 | 松 澤 一 鶴 |
| 野 田 一 雄 | 田 畑 政 治 |
| 本 田 存 | 佐々木 救 |
| 三 上 節 造 | 原 正 一 |
| 栢 原 正 勝 | 渡 邊 延 |
| 笹 島 彦次郎 | 原 秀 夫 |
| 水 谷 泰 夫 | 森 秀 臣 |
| 柳 田 亨 | 金 子 魁 一 |
| 岡 本 勁 一 | 能 崎 文 雄 |
| 小 林 高 志 | 齋 藤 巍 洋 |

水泳指導研究會

昭和 13 年 5 月 1 日（日）午前 10 時帝大プールに於て左記要領にて申込者の検定を施行す。

(イ)潜水 25 米 (ロ)平泳 75 米 (ハ)クロール 25 米 (ニ)伸泳 25 米及立泳飛込 (1 米 3 及米) の技を検定。

採用人員

| | | |
|-------|-------|-------|
| 吉田 勝平 | 河野日出雄 | 左近允正矩 |
| 稲村新太郎 | 辻 淳 | 森島安太郎 |
| 長岡 泰正 | 安達 誠 | 中村 恭治 |
| 山田 喜作 | 田中 桂三 | 田頭 亨 |
| 米谷 義郎 | 正木 敬造 | 小出 義彦 |
| 小田 久吉 | | |

開講式

昭和 13 年 5 月 3 日午後 4 時國民體育館にて開講式を舉行す。受講者 16 名出席。

厚生省體力局長兒玉政介氏下記訓示あり。

國民保健の問題は世界的の風潮にして、我國にありても事務局を反映し一層努力しつゝある所なり、特に水泳が體力養成甚大の効果あることは誰れも知悉する所にして、我國にては優秀なる發達の歴史あり、元々國民に最適の體育なることゝ之により國民皆泳體位向上に資するは最も捷徑と信ず。而して之れが發達の要件として設備及指導者の問題を解決せざるべからず、就中指導者は一朝一夕に得られず、その素質如何によりて事業の成否は明かに分る、敢て此際頗る多難なりと雖も諸子の前途は有爲義なる國家的意義あり、萬難を排し所期の効果を擧ぐることに邁進せんこと切望して止まざる次第なり。

昭和 13 年度女子クラス標準時間變更決定

| 種 目 | クラス | | |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| | A | B | C |
| 100 米自由形 | 分秒以内 1:10.0 | 分秒以内 1:15.0 | 分秒以内 1:20.0 |
| 400 米自由形 | 5:40.0 | 6:00.0 | 6:33.0 |
| 100 米背泳 | 1:20.0 | 1:27.0 | 1:35.0 |
| 200 米平泳 | 3:05.0 | 3:16.0 | 3:30.0 |

女子 13 年度クラス標準時間變更決定

感謝の辭

3月25日から4月7日まで甲子園室内水泳場で開催せる男子選抜選手の合宿練習も豫期以上の成果を収めて終了し得たことは、阪神電鐵株式會社、大阪水泳協會役員諸氏の絶大なる御援助の賜と深く感謝致します。

また女子選手畝川澄江の負傷入院に際しては、長い期間親身も及ばぬ御看護下された藤井正太郎氏夫人にも厚く感謝致します。

關東に於ける合同練習に際し快くプールをお貸し下さつた、東京帝國大學運動會及府立第六高等女學校に對し深く感謝の意を表します。

日本水上競技聯盟

全國中等學校選抜選手合宿練習報告

川 合 嘉 助



時 日——3月25日→4月7日
場 所——甲子園室内プール(25米)
宿 舎——甲子園庭球寮
役 員——河石達吾、齋藤巍洋、高石勝男
指 導 班——小池禮三、葉室鐵夫、牧野正藏、兒島泰彦、新井茂雄、野田務
監 督——川合嘉助
集合選手——26名
自由形
松山正一(中泉)、高須 博(濱二中)、山下欣一(濱一中)、田中一男(沼中)、高木英雄(靜中)、彌津三郎(靜中)、重山 孝(加治木中)、牧野兵庫(伊都中)、竹内定雄(東邦商)、岩田務(岐商)
背 泳
兒玉秀彦(佐伯中)、庄司隆一(安房中)、谷口五郎(廣二中)、長谷川黄一(函商)、松本 進(松山商)、妙中要造(伊都中)、大杉信孝(中農)
平 泳
加藤久男(袋商)、若林富士男(富士中)、内田久

雄(濱一中)、河野宗次郎(明治商)、澤井 湛(廣二中)、吉田 勇(和歌商)、田畑義三郎(京二商)、大野 仁(岐商)、松原正次(耐久中)

合宿練習日誌

3月24日

午後6時より庭球俱樂部にて役員會開催

出席者

河石達吾、高石勝男、井關親之助、石田恒信、齋藤巍洋、川合嘉助、藤井福子、菅谷初穂、大澤禮子

協議事項

1. 指導方法に關する件
2. 練習方法に關する件
3. 其他一般

3月25日

合宿練習會開會式舉行(午前11時30分)男女合併にて庭球寮に於て行ふ

日課表は次の通り

| 日 | 課 | 10.30 11.30 | 練習第貳回 | 男女一日交替にて 行ふ |
|---------------|---|-----------------|-------|---|
| 時間 | 要項備考 | 正午 12.00 | 晝食 | |
| 午前 7.00 | 起床 | 午後 2.30 3.30 | 練習第壹回 | |
| 7.10 | 皇居遙拜一體操 宿舎より海岸まで ランニング、體操 は裸體 | 3.30 4.30 | 練習第貳回 | |
| 8.00 | 朝食 | 5.00 | 夕食 | |
| 9.00 | 體操 | 7.00 8.00 | 練習 | 此の練習は一日交 替なるも練習なき 日は研究並に訓話 を行ひて後引卒散歩 |
| 9.00 10.00 | 練習第壹回 此の日は九時十分 宿舎出發、體操は 練習前約十分行ふ | 9.00 | 消燈 | |

毎練習前には必ず體操を約 10 分行ふ。

各種目とも 2 組に分つために 6 組の練習となり、時間の練習には人数多ければ常に豫定時間に終了する様に留意す。従て選手は自己の練習順番を待期する訓練せり。又オーミングアツプ、ピーティング練習は時間の關係上常に同一種目は 1 組として練習せり。オーミングアツプは各種目とも 25 米なるも練習状況には記載省略せり。水温は 1 日練習時に於ける平均を示す。

指導班は常に學生と共に泳ぐ主任には齋藤巍洋専ら當る。

| 月 日 | 天候 | 水温 | 午前練習状況 | 練習所要 時間 | 午後練習状況 | 練習所要 時間 | 夜練習状況 | 練習所要 時間 |
|-------|----|------|---------------------------------------|------------|---|------------|--|------------|
| 3月25日 | 小雨 | 24度 | 開會式 | | 各種目とも 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 50 米 1 回 | 1時10分 | 指導班各種目とも 100 米模範泳法、後一同 100 米、後折り返し練習 | 1時間 |
| 3月26日 | 晴 | 24度2 | 各種目 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 50 米 1 回 | 1時10分 | 各種目 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 50 米 1 回 | 1時10分 | 自由型 800 米 平・背 600 米 | 1時25分 |
| 3月27日 | 曇 | 24度 | 休み 9 時より室内體操を行ふ | 40分 | 自由型 800 米、平・背 600 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 50 米 1 回 | 1時10分 | 訓話並活動寫眞 (水泳の秘訣) | 1時30分 |
| 3月28日 | 雨 | 24度2 | 度各種目とも 200 米後 400 米、ピーティング 100 米折返練習 | 1時間 | 各種目 200 米後、ピーティング 400 米、ダツシュ 25 米 2 回 | 1時10分 | 各種目 200 米後、ピーティング 400 米、ダツシュ 50 米 2 回 | 1時10分 |
| 3月29日 | 晴 | 24度 | 各種目 400 米後、ピーティング 200 米、ダツシュ 25 米 2 回 | 1時間 | 各種目 100 米後、自由型 800 米、平・背 600 米ダツシュ 25 米 2 回 | 1時15分 | 訓話並研究 | 1時間 |
| 3月30日 | 晴 | 24度 | 各種目 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 25 米 2 回 | 1時間 | 各種目 200 米後、自由型 600 米、平・背 400 米ダツシュ 25 米 2 回 | 1時10分 | 各種目 300 米、ピーティング 5 分後、自由型短新井、長牧野、平小池、葉室、背兒島、以上の四組に選手を分ちフォームの研究並矯正を行ふ | 1時30分 |
| 3月31日 | 晴 | 24度2 | 各種目 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 25 米 2 回 | 1時間 | 背泳 100 米、平泳 200 米、自由型 200 米、後各種目とも 400 米、ピーティング 200 米、ダツシュ 25 米 2 回 | | 訓話並研究(各種目に分れ指導班手分けにて研究す)明日静養日なるを以て充分注意をなす | 1時間 |
| 4月1日 | 晴 | | 休 | | | | 養 | |

| | | | | | | | | |
|------|---|-----|---|-----|--|-------|--|-----|
| 4月2日 | 晴 | 24度 | 各種目とも400米後、 ピーティング200米、 ダツシュ50米2回 | 1時間 | 各種目400米後、ピー ティング5分、ダツシ ユ25米2回 | 1時05分 | スプリント練習、各種 目とも100米、ピーテ ィング400米、ダツシ ユ25米2回 | 1時間 |
| 4月3日 | 晴 | 24度 | 各種目400米、ピーテ ィング200米、ダツシ ユ25米2回 | 1時間 | 休 養 | | 訓 話 散 歩 | |
| 4月4日 | 晴 | 24度 | 各種目とも400米、ピ ーティング200米、ダ ツシュ50米1回 | 1時間 | スプリント練習各種目 とも200米、ピーテ ィング200米、ダツシ ユ25米1回 | 1時間 | スプリント練習、各種 目とも100米、ピーテ ィング200米、ダツシ ユ50米1回 | 55分 |
| 4月5日 | 晴 | 24度 | 背泳200米、平泳、自 由型共400米、ダツシ ユ25米8回 | 1時間 | 各種目100米、400米、 ピーティング20米、ダ ツシュ50米1回、25米 2回 | 1時10分 | 活動寫眞並藤井先 生の診察 | |
| 4月6日 | 晴 | 24度 | 各種目400米、ピーテ ィング200米、ダツシ ユ25米2回 | 1時間 | スプリント練習、各種 目200米、ピーテ ィング200米、ダツシユ25 米2回 | 1時間 | 訓話並兒島、新井の経 験談、體操、マツサア ジ指導 | |
| 4月7日 | 晴 | 24度 | 各種目200米、ピーテ ィング200米、ダツシ ユ25米1回 | 55分 | 記録會並閉會式 | | | |

後 記

一人が一度に二つ以上の仕事をする事は困難である。然し実際はこの例が多い。例へば練習中に病人の出た場合である。今回の合宿練習では役員各位が常に協力事に當つた爲め、日課等も秩序正しく正確に實施せられ、且又眞の愛が總ての事を解決して豫定通り終了する事が出来た。殊に指導班員は身を以

て範を垂れ不言實行で進んでくれた。記録會の成績は各位の期待に添ひ兼ねた恨みはあつたかも知れないが泳ぎと云ふもの、練習と云ふものは相當良く中等學校選手にも理解でき、延いては地方選手にまでこの氣分が傳へられるのではないかと喜び、且つ役員各位に深く感謝してペンを擱く。(川合生)

甲子園合宿練習記

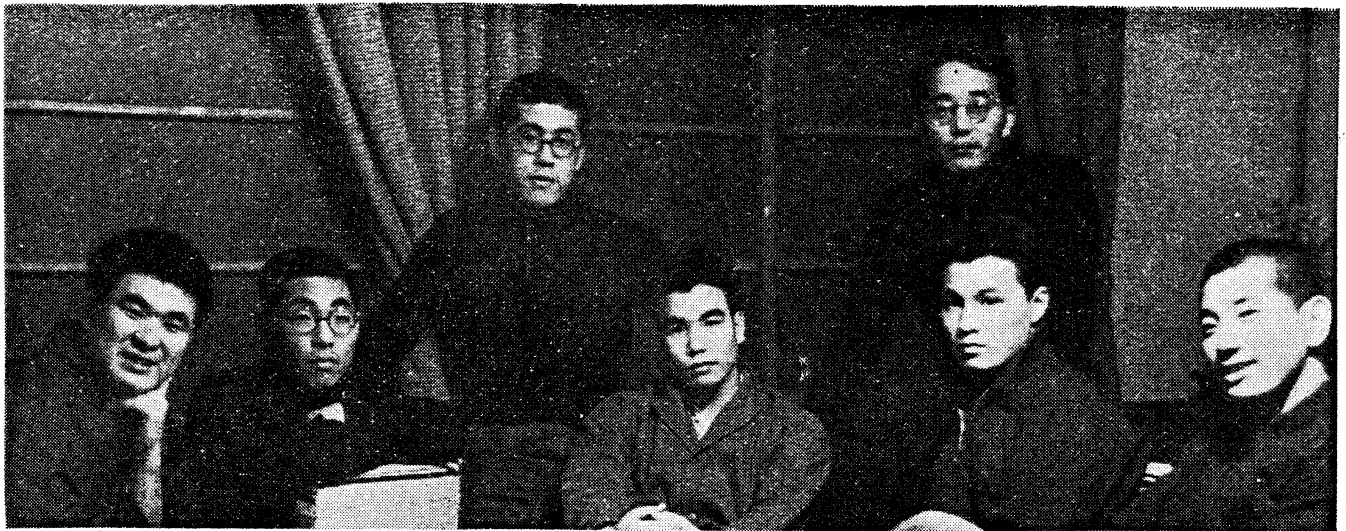
齋 藤 巍 洋

少年選手達の憧れである。オリムピック東京大會もいよいよ本極りとなつた。三度制覇を期して一流既成選手も、また若き小河童達も希望に満ちてゐること、思ふ。この秋に當り、水上聯盟では本年度の強化策として先づ甲子園室内プールに3月25日—4月7日まで、全國から男子中等選抜選手並に一般女子選抜選手を集め、牧野正藏(早大)、新井茂雄(立教)、小池禮三(慶應)、野田 務(明治)、葉室巖夫(日大)、兒島泰彦(慶應)などの現役ナンバーワンを指導班として合宿練習を行つたのを始め、東都でも府立第六高女プールに關東女子Cクラス級の合同練習を松澤一鶴氏指導下に、3月25日から4月3日まで行ひ、また4月5日から20日まで關東在住

のCクラス以上第一線選手の合同練習を、帝大プールで續行ここ全般に亘る強化を期して華々しき本年度の水上界に對するスタートを切つた。

甲子園に於ける合宿では男子中等選手26名、女子21名が集まり、これに指導班の選手6名が加はる大スタッフとなつた。水温24度の理想的ではあつたが、プールの巾10米、長さ25米ではこれだけの選手が2時間の間に十分な効果をあげて練習することはまことに困難であつた。しかし今回の合宿練習の目的は、フォームを作り、技巧を修得し、體位向上を計りながら記録にも成功を期するにはどんな練習法をやればよいかにある。

先づ川合監督の統制下に規則立つた日常生活を開



コーチングスタッフ 右より 栗室君、野田君 (下) 齋藤氏、小池君、兒島君、牧野君、新井君

始した。午前7時起床、直ちに海岸まで一馳り皇居遙拜後、栗室、新井などがリーダー格となり水泳体操、朝食後は9時半、10時半と男女交互にプールに實地練習、プールまで宿舎から歩行で10分位はかかる。午後はまた2時半、3時半と男女交互に練習を開始、夜間は7時から8時まで隔日にプールで技巧の研究、各選手の眞剣な張り切り方は気持ちのよい日常を送ることが出来た。午前7時に起床、10分には海岸に出で、皇居遙拜、体操といふに7時には早くも宿舎別に整列して指導班を待つてゐる。こんな気持ちが出て来なければ如何に眞面に練習をやらうと思ふても眞の氣合が乗つて来ない。

午前、午後1時間づゝでは全く練習に餘裕がない、その上に各選手とも關東の一流選手達の様冬何季何等かスポーツを行つて體力養成に留意してくれてゐた選手の数は、ほんの数へる程しかなかつた。3日間位といふものは唯水に慣れる程度の練習量しか行へなかつた。午前、午後とも1回の量は、25米ウォームアップ、400米、打叩200米、50米位のものであつた。それにもかゝらず、大分水を呑んで苦しんでゐた様だつた、また泳ぎも唯水中で藻掻いてゐる程度のものであつた。

しかし前述のフォームを作り、技巧を得るためには、最初から水に乗る工夫をしなければならない。ゆつくり泳いだのでは決してフォームを作ることが出来ない。また水に乗つて泳いでこそ折り返し等の技巧が生れて来るのである。またウォームアップを100米、200米も泳いだのでは徒らに時間の浪費と體力を消耗するのみで、主練習を行ふ際には全力が盡せない。ことに伯林大會前にも18度位の冷水で長く泳いだため主練習の時にペースの練習が十分に

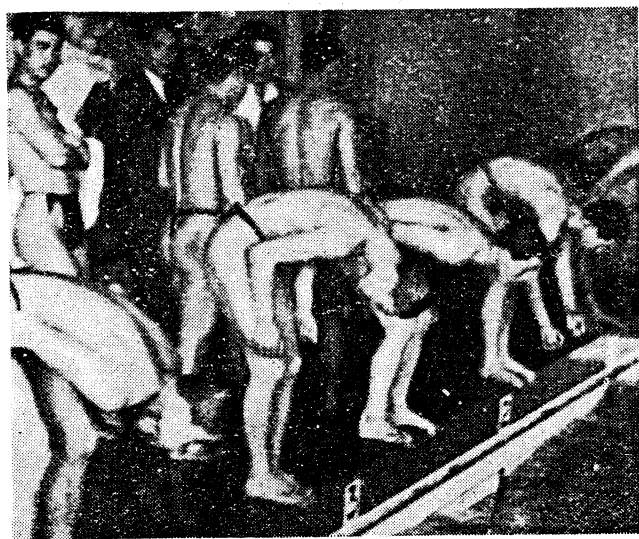
出来なかつたが、来る東京大會にも矢張り前回と同コンディションにあると思はなければならない。しかしウォームアップを行はなければ冷水だと衝動が大きいため、唯運動神経に刺戟を與へる程度の25米に止めた。

ウォームアップ後は主練習として400米或は600米位を最初からフォームを崩さず水に乗る練習を行つた。勿論午前中は未だ頑張り耐へ得る體力が出来てゐないから軽い気持ちであつたが、指導班選手達のペースメーカーとしての眞面目な泳ぎ振りはよく中等選手を彼等の最高ペースへと導き、また女子選手の涙ぐましい努力はよく彼女達を良いフォームへと、そして主練習の量は400米、600米位の程度でペースの練習は殆んど出来なかつた。従つて10日間では確實なペースを作り上げることは望めなかつたのであるが、男子では平泳の加藤(袋井商)、田畑(京二商)、背泳の松本(松山商)、自由形の岩田(岐阜商)等々、女子では自由形の天野(土肥)、宅間(羽衣)、古田(中泉)、梅村(相山)、背泳の伊藤(中泉)等々期待し得る選手が頭角を現はして來た。

主練習に引續いて泳ぎの基礎を作ることの出来る打叩の練習は毎回200米位のものであつた。打叩のよく利く選手は、自由形では男子は女子に比して少なく、200米を4分を割るものは岩田唯1人しかなかつたのには心細い感じがした。岩田も未だ腕を自由に抜け得るだけの打叩のコツが解つてゐないが、泳ぎの源動力である脚力が、女子の古田、宅間、天野などが4分を割つてゐるのにこの有様はどうした理か、日本選手の特徴は脚力にある。水上制覇の偉業をなし遂げたのもこの脚力があつたがだめだ。また伯林遠征の時にも打叩に使用する板子をわざわざ

日本から持つて行つてゐる。それ程泳ぎの生命を打叩に賭けてゐるのに、中等界で殆んど顧みられてゐないのは心淋しい氣がした。勿論牧野、遊佐などの様に脚力が無くつとも自然と腕、脚の調和を得てゐる選手も居るが、これ等は天才人だ、泳ぎの調和を眞似ようとしても得られるものではない。矢張り脚力、腕力等部分的に強くし、是等の調和を得なければ一流の域には達せられない。ことに短距離選手は腕力のみで泳いでゐたが、これでは大成する見込みがない。打叩さへ利いて來れば疲れて來た場合も「頭部を水中に沈め、臀、足先を浮かせ、全く脚力、腕力等を失ひ、浮いた形となり、惨めな敗け方をしなくつともよくなつて來る。そして自然と最後まで自分のフォームを崩さず、力泳を續けることが出来る様になるのだ」この重要な點を殆んど大半の選手が等閑に附してゐる様な氣がした。

打叩の後には 50 米、これもクーリングダウンとしてのろのろ泳ぐのではなく、打叩によつて得た身體の位置を變へないで腕力を利かせてやる様にした、打叩後の體位は少くとも當日に於ては最良であ



男子軍の練習

るから、この機會を捕へ、フォームを作るべく努力して見た。クーリングダウンは練習後の入浴「足力」等の水泳體操により、十分にカバーが出来るからである。従つてシーズンにでも入れれば、この時にスタートの滑り出し等を十分に行へば効果が多いと思ふ。

以上の様な練習量で所要時間は最初 1 時間 15 分位であつたが、慣れるに従ひ 1 時間もあれば十分となつた。

以上の様な主旨の下に練習を續け、最終日の記録會には僅か 10 日間、それも未だ基礎が完成するに

は十分でなかつたが、兒島の 200 米背泳 2 分 30 秒 8 の日本新記録を始め 8 名までは昨年度のオープンに於ける自己の最高記録或は同等の實力を示した。田畑(平泳)が胃病のため 2 分 50 秒を割ることが出来なかつたが、加藤(平泳)とともに將來があり、また背泳では妙中、谷口、大村等いづれも 1 分 14—15 秒に止まつたが、記録會に 1 分 16 秒 6 で振はなかつた



男子軍朝の體操

松本など唯體力さへ出来れば、オリンピック陣を狙ひ得る一人だつた。自由形では岩田が一人光つてゐた様であつたが、いづれも脚力を利かせることを忘れぬため、打叩にさへ今少し力瘤を入れてくれる様なになれば、中等陣の充實を容易であるだらう。

女子方面では古田がやゝカムバック振りを見せ、天野、宅間などを始め大半の選手達が、素晴らしいペースを作りつゝあるのは女子水泳陣にとつて心強い。ことに 400 米を泳いだ、天野、宅間など 100 米 1 分 19 秒臺、200 米 2 分 55 秒臺といふ昨年度神宮大會で泳いでゐた頃の好ペースで泳ぎ、勿論ラストまで續かなかつたが、天野の 6 分 9 秒 2 などは收獲の一だつた。背泳でも伊藤が 1 分 26 秒 6 の好記録を出し、平泳に於ても南里、中山等の新人が漸く擡頭して來たことは注目に價する。

そして私は今回の合宿で主練習の量は、常に最初から水に乗る工夫をすれば徒らに長い距離を泳がなくつとも可である。従つてシーズン始めなどは基礎を作ることに留意し、長くつて 800 米位も泳げば十分で、400 米を短距離選手も長距離も完全に泳ぎ得る様にさへして置けば、競技會前 20 日もあればペースを立派に完成し得るだらうといふ自信を得た様な氣がする。



春季合宿レコード會 (甲子園)

杉本 傳

春の休暇を利用した2週間の合宿練習は本年シーズンの基礎訓練であつて、練習者には技術的にも精神的にも大きな収穫があつたものと信ずるが、一體レコード會と云ふものを、一般の観衆其他は前年の最高潮にあるときの記録を對照として視るのが普通である。

春季合宿レコード會と云ふ振れ出しを見ると、此の合宿の成績成算をレコードによつて價值づけるものと思はれるのが普通である。だが然し眞の目標は東京オリンピックであつて、其の爲差當り本年夏のシーズンには目覺しい躍進を希望するが故に、其の素地を造らんが爲の合宿練習であつて、其の最後練習を意味するものであると云ふ考へで此のレコード會を視る必要があると思ふ。

練習生に選ばれた男女の諸氏は極めて眞面目に訓練を受け、監督、コーチ、先輩の諸氏は非常な熱と希望を以て深切丁寧に之を導かれた事を感謝せねばならない。

一般に練習會の初め頃視た眼では、レコード會の當日の泳ぎが大體に於て良くなつてゐる事は、其の効果があつた事を證明するものゝ一つである。練習生は技術的方面もさる事ながら、合宿の共同方法によつて種々有益な體驗を獲た事と思ふ。

練習生の諸氏は當日レコードの良、不良に拘らず此の練習に依つて得たるものを基礎として、今から夏までの正しき練習、即ち氣合の充ちた練習によつて水泳日本の將來を背負つて立つに足る、強い泳ぎ手になる事が吾人の願ふ所で、諸氏が今回直接世話になつた監督、コーチ諸先輩並びに此れを計畫された N.S.R. に對する責務であると信ずる。

男子之部

◎印は昨年度同人の最高記録を凌駕するもの

○印は同位

100 米自由形

| A | 記録會 | 昨年度 |
|-------------|---------|--------|
| 1 彌津 三郎 靜 中 | ◎1:03.8 | 1:04.3 |
| 2 牧野 兵庫 伊都中 | 1:04.0 | 1:03.2 |
| 3 山下 欣一 濱一中 | 1:04.8 | 1:02.6 |

B

| | | |
|-------------|--------|--------|
| 1 重山 孝 加治木中 | 1:06.2 | 1:03.8 |
| 2 高須 博 濱二中 | 1:06.4 | 1:05.4 |
| 3 田中 一雄 沼 中 | 1:08.0 | 1:06.0 |

C

| | | |
|-----------|------|------|
| 新井 茂雄 立 大 | 59.2 | 57.8 |
|-----------|------|------|

200 米自由形

A

| | | |
|-------------|---------|--------|
| 1 岩田 務 岐阜商 | ◎2:21.2 | 2:21.4 |
| 2 松山 正一 中泉農 | 2:27.0 | — |

B

| | | |
|-----------|--------|--------|
| 新井 茂雄 立 大 | 2:16.6 | 3:12.2 |
|-----------|--------|--------|

400 米自由形

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 竹内 定夫 | 東邦商 | 5:14.2 | — |
| 2 | 高木 英雄 | 靜 中 | 5:51.6 | 5:14.6 |

200 米 平 泳

A

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 大野 仁 | 岐阜高 | 3:01.4 | 2:59.6 |
| 2 | 河野宗次郎 | 明治商 | 3:05.2 | — |
| 3 | 若林富士雄 | 富士中 | 3:06.0 | 3:02.8 |

B

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 吉田 勇 | 和 商 | 3:05.2 | 3:02.2 |
| 2 | 澤井 湛 | 廣二中 | 3:11.4 | 2:57.5 |
| 3 | 内田 久男 | 濱一中 | 3:12.6 | 3:09.2 |

C

| | | | | |
|---|-------|-----|---------|--------|
| 1 | 加藤 久男 | 袋井商 | ◎2:53.6 | 2:54.0 |
| 2 | 田畑 三郎 | 京二商 | ◎2:53.8 | 2:55.0 |
| 3 | 松原 正次 | 耐久中 | ◎3:01.8 | 3:02.2 |

D

| | | | | |
|--|-------|-----|--------|--------|
| | 葉室 鐵夫 | 日 大 | 2:44.0 | 2:40.4 |
|--|-------|-----|--------|--------|

100 米 背 泳

A

| | | | | |
|---|-------|-----|---------|--------|
| 1 | 妙中 要造 | 伊都中 | ○1:14.0 | 1:14.0 |
| 2 | 谷口 五郎 | 廣二中 | ○1:15.2 | 1:15.2 |
| 3 | 松本 進 | 松山商 | 1:16.6 | 1:15.8 |

B

| | | | | |
|---|-------|-----|---------|--------|
| 1 | 大杉 信孝 | 中泉農 | ◎1:15.2 | 1:16.2 |
| 2 | 長谷川黄一 | 函館商 | 1:18.8 | 1:18.0 |
| 3 | 庄司 隆一 | 安房中 | 1:20.2 | 1:17.2 |

C

| | | | | |
|--|-------|-----|---------|--------|
| | 兒島 泰彦 | 慶 大 | ◎1:08.4 | 1:09.2 |
|--|-------|-----|---------|--------|

200 米 平 背

| | | | | |
|---|-------|-----|---------|--------|
| 1 | 兒島 泰彦 | 慶 大 | ◎2:30.8 | 2:32.8 |
| | | | (日新) | |
| 2 | 大杉 信孝 | 中泉農 | 2:43.4 | 2:41.8 |

女 子 之 部

| | | | |
|----------|-------|------|---------------|
| 100 米自由形 | | 記録會 | 昨年度 |
| 1 | 小枝 蔦子 | 津山女 | 1:16.8 1:16.6 |
| 2 | 松村 昶子 | 山口女 | 1:19.0 1:15.8 |
| 3 | 谷口美代子 | 京二條女 | 1:21.2 1:14.8 |

400 米自由形

A

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 天野 貴子 | 土肥女 | 6:09.2 | 6:04.4 |
| 2 | 宅間 美恵 | 羽衣女 | 6:17.2 | 6:10.6 |

B

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 立松 品子 | 椋山女 | 6:24.2 | 6:08.6 |
| 2 | 三浦 ハナ | 横濱女 | 6:32.8 | 6:01.8 |

200 米 平 泳

A

| | | | | |
|---|-------|------|--------|--------|
| 1 | 中山 絹子 | 徳島女 | 3:22.6 | 3:20.6 |
| 2 | 村尾 充子 | 長崎女 | 3:28.0 | 3:15.4 |
| 3 | 東 トヨ | 京府一女 | 3:44.0 | 3:31.2 |

B

| | | | | |
|---|-------|-------|--------|--------|
| 1 | 南里千嗟子 | 兵庫縣二女 | 3:21.6 | 3:18.2 |
| 2 | 壺井宇乃子 | 京 都 | 3:22.0 | 3:14.5 |

100 米 背 泳

| | | | | |
|---|-------|-----|--------|---|
| 1 | 伊藤さとし | 中泉女 | 1:26.6 | — |
| 2 | 北島 静子 | 椋山 | 1:29.2 | — |

200 米自由形

| | | | | |
|---|-------|------|--------|--------|
| 1 | 梅村 米江 | 椋山 | 2:53.0 | 2:51.6 |
| 2 | 古田 つね | 中泉女 | 2:55.4 | 2:52.6 |
| 3 | 秋山 幸子 | 久留米女 | 2:58.6 | 2:57.5 |
| 4 | 三鬼百合子 | 土肥女 | 2:59.8 | 2:56.6 |

BIG NEWS from PERU

日本上水競技聯盟 御中

秘露日本人體育協會 清廣亮光氏投稿

1940年度を控へ御多忙中の所くだらぬ通信をする失禮の段何卒御容赦下さい。實は去る3月19日より當市設立400年祭記念に在留日本人が寄贈したプールに於てアルゼンチン、ブラジル、チリー、ウルグアイ、エクアドルの5ヶ國の参加の下に第5回南米水上選手権大會が開催され、昨夜で第4日を終りました。今日迄の所男子に於ては新記録は出ませんでした。今日迄の所男子に於ては新記録は出ませんでした。昨夜の200米女子平泳にブラジルのマリーア・レンク嬢は南米記録を16秒縮め世界記録に後1/2秒で追付くと云ふ驚異的記録3分0秒6を作りました。即ち日本の前畑氏が作られた記録に肉迫し油断は出来ぬぞと云ふ感を深からしめましたので、参考迄に御知らせ致します。特に同嬢は終始バタフライによつて此の記録を生んだと云ふ事は研究すべきでなからうかと存じます。

當國の水上界は日本人在留民が寄贈しました50米プールができてから、日に日に向上の途上にあります。

ブラジルの選手の向上はとりも直さず齋藤巍洋氏に負ふ所大であると存じます。1940年度は當國も是非参加すべく陸上、水上共に研究錬磨してゐます。第二世(日本人)の中からも優秀なものを出したいと存じてゐますが、指導者と参考書が無いので困つてゐる所です。参考書があつたら御寄贈下されば幸甚と存じます。

亂筆にて失禮乍ら感激のまゝ、右御通知申し上げます。(1938. 3. 25)

女子合宿感想記

菅谷初穂

昭和 15 年度の東京大會をひかへて現在の女子水泳界を考へる時特に心細さを感じずには居られません。然し伯林大會前急速な進歩をなし相當な成績をあげたドイツ女子水泳會の経験からおして決して日本女子水泳界に出来ない事はないだらうと思ひます。一時も早く優秀なる選手を作り安心して戦ひうる様になりたいものです。3 月初旬に春休みを利用して男子中等學校の選手が集り齋藤魏洋氏御指導の下に甲子園で合宿練習が開始される事を聞き關西地方の女子の優秀な選手を集め此の良い機會に強化策の一部として練習をしてもらへばと大阪水泳協會の希望に結局水上聯盟規定の女子 B クラスに位する選手の合宿練習と大きく變改して男子の練習のお仲間入りをさせて戴いて練習する事に決定したのでござります。

幸ひプールの方も阪神電車の寛大な御援助の下に立案致しましたスケジュール通りに使用させて戴き女子の事でもありますので一番心配しておりました宿舎の方も落ついた静かな住宅で家庭的な氣分を味ふに十分な所でござりました。

食事の方も榮養價は勿論大變な御馳走で選手一同何よりの楽しみにしてゐた様子で世話をして下さつた女中さん達も仲々親切に萬事好都合だつたと思ひます。

毎日の練習は御熱心な齋藤魏洋先生の充實した御指導に依つて一日一日調子があがり特にやかましく云はれましたビーテングの練習の成績等は目にみえて面白い様にスピードが出て來て選手達も非常な興味をもつてゐた事は大成功であつたと思ひます。

始めの一週間餘りは久し振りで筋肉を使つた關係で大多數の選手も身體が痛む様な事を申して居りましたが補助運動或ひはマツサージに依りまして案外早く回復し元氣で練習する事ができました。

練習の餘暇には男子の元氣潑刺たる練習振りと有名な選手方の泳法を熱心に見學して傍ら色々の御説明並に御注意を戴き大變有益でありました。又夜の練習のない日に齋藤、高石、河石の諸先生の經驗談、或ひはフォーム練習の研究と質問の會もあり皆時間の來るのも忘れて熱心にお聞きする等實にたのもし

く感じました。

長い様で短かゝつた二週間の練習も數々の良い體驗と收穫をえて終始することの出來ました。出來ればオリンピック迄“此の様な”合宿練習を年に3回大會前には相當長い月日を練習したならば來る東京大會には必ず男子に劣らない成績を擧げらる迄に行くのではないかと思ひました。ロスアンゼルス、伯林と過去の成績を考へてみる時生れ出て未だ年數も淺い女子水泳會ではありますが一步々芽がでて來て居ります。小さいと云はれた日本女性の體格も近頃ではすつかり良くなり水泳選手達も私達時代と比較して随分いい身體になつてゐます。身體が出來て來たゞ泳ぎも大きく延び延びして來今後の練習次第に依つては東京大會には相當戦ひうる處迄行けるのではないかと心強く思はれました。

二週間の間何もかも好都合に行きましたが唯一つ畝川選手が誤つて風呂で轉び足の指を痛め練習の後年を病院生活しなければならなくなつた事は責任者として實に申譯ないと思つて居ります。然し経過は良く全快の時はより以上の強い足になる事をきゝ又今後大いに水泳界のため活躍して戴ける事は何より嬉しい事です。入院中藤井のおば様（大阪水泳協會々長夫人）の親身も及ばぬ御看護には心から感謝致しますと共に數々の御親切によつて何不自由なく養生し全快出來た畝川選手も不幸中の幸であつた事と思ひます。

選手のお世話を大澤禮子さんに願ひ二週間の間何もかもおまかせして申譯なく思つて居ります。此の合宿に於て齋藤先生、高石先生の有益な御指導を戴いた選手達は多大の收穫をえた事と思ひます。お教へ願つた數々を生かし今年の選手權の御活躍を何よりの楽しみ且驚異的記録の續出を切望致します。

女子合宿日記

大澤禮子

3月25日 金曜日 曇時々雨

待望久しき女子水泳發達の然め合同合宿練習開始の日となつた。

午前 11 時 先生に父兄に連れだつて甲子園室内プールに集合、眉山高女の梅村さん御病氣の爲參加

おくれ、平泳のホープ壺井さんも姿を現はさず。水泳陣の第一人者揃ひにてさすがに冬期練習にめぐまれぬ方々は「泳ぎたい」とプールの水に手を入れて見たりする。荷物を宿舎に置いて男子選手の宿舎にて開會する發會式にのぞむ。

午後よりは早速練習開始 長い汽車にゆられておられた人もあつたが非常に元氣でお部屋の割當をしたり、早速故郷へお便りをする心がけのよい人もあつた。

全く一軒の獨立した家を拜借出來たので心配してゐた事もなくコンクリートの堂々たる門構へで自分のお家みたいに寛ぐ事が出來さうだ。

2時30分出發男子軍の練習をししばらくスタンドで見學し水に入る、今日は最初の爲輕くやるとの齋藤先生のお言葉に一同喜ぶ。こんだのも束の間(一)、400米、(一)、ビーティング200米、(一)、50米、以上に一同大さわぎなんだが勝手違ひの様な風だつた。

時間が少くない爲 18名を種目別にわけ自由型はA、B組に分ける。

自由形

A 谷口、天野、松村、宅間、古田、小枝

B 三浦、三鬼、立松、秋山、村岡

背泳 北島、伊藤、畝川

平泳 村尾、南里、東 中山

久し振りに水につかつて夕食はとてもおいしかつた。夜は齋藤先生が來舎されフォームについて参考になる映畫を持参していただき速製のスクリーンをたて、新井、牧野、鶴藤、小池、葉室、キープアーなど一流選手のフォームをしつかり見せていただき、大變よかつた。何度も見せていただきたいと思ふ。疲れた體を九時床に入れる。

3月26日 土曜日 快晴

からりと晴れた陽を浴びて體操をする、急に休めてゐた體を動かした爲か、首が痛い肩が痛い悲鳴を一人残らずあげる。

10時より練習 午後は菅谷さんも見えられて3時半から開始。

夜は齋藤先生から一流選手になるには……とかフ

オームの御話などあり又質問などして第二日を終る。この日香野さんより澤山商賣品の御本を拜借させていたゞく。

3月27日 日曜日 晴後雨

今日のはじめての休養、體操を少し澤山する。大毎主催全國中等學校野球大會の入場式を見物に行く 2時半より練習、突然、小島一枝さん來舎、皆大喜びしかしお仕事の都合で2、3日しか滞在されないとか、にぎやかになる、又梅村さんも共に参加される今日のはじめて1日3回夜間の練習、高石先生に手をとつていたゞいての練習をする。わづか1時間の時ではあつたが今日も有意義な一日だつた。

3月28日

月曜日 雨後晴

昨夜來の雨まだ降り續いて折角の氣分を重々させる。10時半出發、練習、水にも大分なれて來た様で氣持よく頭を並べて泳いでゐる。午後藤井先生が來て下さり梅村さんを診察していただゞく。

夜は齋藤先生の

お話、つゞいて菅谷さんにオリムピックのお話をしていたゞく。

3月29日 火曜日 晴

絶好な天氣、體の調子もよく元氣はちきれんばかり、朝小島さん歸郷。もつとゐていただきたかつた。しかし學校の都合では、

菅谷さんも朝から來ていただき練習も本調子となる。しかし見學する人が多いので残念、僅かな日数だから無理をして下さいとは申しませんが餘り自重しすぎてゐる様で苦しい練習にたへる精神力がもつともつと欲しいと思ふ。一體に若い方々ばかりのせいかまだまだ慾がない、この點が發展しない原因ではないかしら、あと一押しといふ處がほしいと思ふ。

3月30日 水曜日 晴

本日も快晴 そろそろへばりが出て來た様だ午前中は軽くする、午後菅谷さんの御母様來舎激勵していただゞく。練習は氣持がゆるんだ爲かだらだらして了ふ。しかし突然心を締める事件がおこりいゝお藥になつた。それは練習も終り御風呂には入つて相變



女子軍一同

らずがやがやとさわいでわたが上る時タイルに滑つて人程轉びその一番下になつた畝川さんが足を擦座して了つた事だつた、早速車で驛の傍の末岡病院に連れて行く、骨折したので全治4週間位大分手間どるらしいが運動には大丈夫との事、一まづ入院させる、藤井先生に付添つていたゞく事にする、合宿の方は私一人一寸心細かつたが皆さんも大分なれお行儀もよいので兎に角先生には病院にゐていたゞく。

選手が受けた衝動はいゝ薬になると同時に父をなぐさめはげます友情に何か胸迫るものがあつた。

プールの石田さん、笹原さんの御親切な處置に對して厚く御禮申し上げ畝川さんの父兄に對して不行届だつた事を深くおわびしてやまない。

3月31日 木曜日 晴

3月も終る 丁度始つてから今日で1週間そろそろレコード會の事が話題に上る、氣になるらしい、畝川さんも経過良好との事漸く安心する、午前、午後、練習平常通り明日の休養が喜しくて大變な張切り方、夜は高石先生、今夜は早目にすまし宿舎で座談會、その尊い御體驗談をうかゞひ一同深く感銘する處があつた。

餘程明日が待遠しいと見えてごそごそそなかなかねむられず大分おそく迄起きてゐた。明日の日よき日なれ!!

記録會の申込をする、一人一種目で大喜び。

4月1日 金曜日 晴

待ちに待つた休養日。

朝から大はしやぎ今朝は一人も起床迄ねてる人なく時間前に起きて了ふ「プールにひたる人、買物の人野球見物の人、寶塚見物の人と」思ひ思ひに楽しい一日をすごして夜8時半迄おみやげ話に花が咲き今夜も大さわぎ、さあ明日から又練習にはげみませうと御約束して床に入る、本日から壺井さんの顔も見え平泳陣にぎやか。

畝川さんも元氣で皆さんのおみやげに急にお部屋が明るくなる。この分で行くと早くなほるとの事早い御全快を祈つてやまない。

4月2日 土曜日 晴

練習日より休養日の方が疲れるといふ事がよくわかつた。皆さんも相當に疲れてゐらつしやる、しかし残り少なくなつたので熱も加はつて來た、元氣者の天野さんが腹痛の爲午前中の練習、休養疲れらしい。

しかし夕方からは元氣になる。他は皆大丈夫、昨夜のタツチン、エツチンの眞似でわれんばかりのさわぎかたなり。



女子選手のピーティング

夜は男子に練習を譲つて高石先生にお話を伺ふ。畝川さんもたいした事なく良好の由。

藤井先生の親身も及ばぬ御看護なんて感謝してよいかわからない。

4月3日 日曜日 晴

連日の乾燥した空氣の爲か全部がノドを痛めてゐる、しかし雨よりはいい、水着も乾いたのがきられるから、今日は午後最後の休養の爲午前の練習は少し澤山やる、レコード會を控へてレースコースを泳ぎタイムをとるとても好調なり。

休養日でもこの前でこりたと見え餘り大阪へ出る人もなく宿舎にゐる人が多かつた。北島さんの御父様來舎、名古屋の御菓子をいたゞく。夜は親睦會を開く。

4月4日 月曜日 雨後晴

朝體操の時は雨も降つてゐなかつたが朝食の時はものすごい雨で雷鳴さへ加はり眞暗になつてどしやぶり。練習に出かける時は幸ひ小降りになつてゐた。男子の練習見學この期間中この男子軍練習を見學する事も有効だつた。今日は杉本先生も茨木中學水泳部生徒を連れて御來場、一同士氣旺盛毎日グングンタイムが上つて行くので楽しみだ。

夜は高石先生、河石先生に來ていたゞく。畝川さんもますます元氣しかし14日頃迄退院は出來ぬ様だ。

4月5日 火曜日 晴

そろそろかへり仕度、荷物をまとめにかゝる、合宿参加の感想文を書かせられる、向ふ鉢巻して書いてる人もあり相當苦手らしい。御便り數十通毎日かく人も作文はだめらしい。

練習もレコード會を控へて張切つてゐるのでもう「先生しんどいわ」の鼻聲もきかせられず助かる。

夜の練習ははじめて河石さん、葉室さんに見ていたゞく。

本日トレーニングシャツをいたゞく、全員揃ひのユニホーム揃ひといふ事はいいものだ。

4月6日 水曜日 晴

いよいよ今日日になつて了つた。

思へば何一ツ満足の御世話が出来ず皆さんに對して濟まない氣持で一杯。

藤井先生 菅谷さんてばかりお任せして了つた様だつた、なつかしい全く思出の多かつた2週間だつた、ずい分と私自身教へられ反省させられた點があつたゞけ名残り惜しい氣がする、忘れ物のない様に早いけど荷物を造つていたゞく。

夜は茶話會を開く、明日のレコード會が氣になつてならない様だ、なんでもないので。

澤山ニツクネームが出来て一人で三つもいたゞいた人もゐる、紺ガサリの坊つちやんだの金時だの男の子みたいなのがが多い。

4月7日 木曜日 晴

朝からまるで競技會の時の様なさわぎ。

日頃元氣なゴンタ(大阪辨でやんちやな人をいふ)なTさんまで「先生御飯が通りやしまへん」だの、「うちタイム悪るかつたらどうしよう」なんて朝食一寸も進まずレコード會の話ばかり、午前中は平常通り練習、今朝は皆おとなしい、タイムも良好、晝食を早目にすまして氣をまぎらわす爲レコードをかけたり唄つたり、ウーチャン先生得意の愛國行進曲舞踊を習つたりする。2時出發。プール向ふこれがおしまひと思ふと2列に正しく並んで松林を抜けて

プールに行く道もなつかしい、軽く泳いで時を待つ一種目だけなので早く終つた人はもう全く晴々とした顔でスタンドに並ぶ、上々の成績を収めて記録會も終りプールに於てすぐ解散式をする。

思へば2週間の生活、幸ひ病人を出さず、畝川さんは入院中であるが災難として1人の落伍者もなくすごした。東京大會への力強い第一歩を踏み出したわけだ。

各々夏の活躍を約して宿舍にて御別れする早速かへる方もありたいがひ夜行で歸郷なされた。後始末して引上げたのが7時だつた大任も無事に終りほつとした様な氣抜けした様な、感想みたいなものをのべれば、こうした機會を毎年持つ事が必要であつて是非やつていたゞきたい事と練習時間がとても少くない事で今度なぞ50名程がわづか2時間の間にやらねばならないので十分なコーチもしていたゞけなかつた事で女子だけで2時間位いたゞきたいと思ふ。又選手自身の氣持が前にものべたがもつと日本を代表するのは自分だ位の強い心臓で練習していたゞきたい事だ。オリムピック代表と確定してないだけ無理かもしれないがもう少し競争意識を出していたゞきたいと思つた。女子水泳が現在沈滞してはゐるがこの事が男子のそれの様になつたらばと思ふ。餘りものすごいきつい云ひ方かもしれないが……。

合宿感想記

岩田 務 (岐阜商業)

大變長いと思つた2週間の合宿練習もいよいよ終りだ、初めは辛いと思つてゐたが、今になつてよく考へて見ると辛い事もあつたが又楽しい時も多かつた。

川合先生には随分叱られもしたがいろいろ爲になる事も教はつた。

齋藤先生並びにインターカレッジの新井、牧野兩選手によつてフォームや技術的方面の指導を受けた。

此の合宿練習をやつた者は皆感謝の念で一杯であらうと思ふ。

自分について注意された事を今一度思ひうかべてみよう。

先づフォームはピーティングが必要だ、私のは足の打叩が重すぎた。之れが軽くなればピッチが樂に上がつて来る。次は手だ、早く泳ぐにはピーティングとキャッチが大切である手が水に入つた時は手をのばして前の方でキャッチすることが必要だ。

そうして水を搔くときは速くかくこと。

私の今迄の泳ぎは小さ過ぎた、これからはもつと大きな泳ぎにならなくてはならない、新井君の様に、又レース、ターニングについても種々親切に御指導下さつた。

故郷へ歸つて一生懸命練習して夏の大會までにきつときつときつと皆様方の御期待にそぶべく頑張る積りで居ます。改めていろいろ御指導下さつた先生方に御禮申し上げます。

大杉 信孝 (中泉農)

今回の合宿練習に於て齋藤、川合兩先生や優秀なる大學選手が手に手を取つて指導された事は僕達に取つてどれほど幸福であり又教へられた事でせう。合宿中感じた最初のもは川合、齋藤兩先生や諸先輩の手厚い指導。次に規則正しい團體生活を朗らかに送つた事、又プールに行く途中列を成して行き又體操中には身體の筋肉を軟らかにし、又體の力を養ひ得るといふ事が明らかに解りました。練習には初めから良く頑張らねば伸び無いと云ふ事、足の練習が大切だと云ふ事。泳ぎは手と足の調子が取れなければならぬと云ふ事、練習の時餘り長く泳が無いで短かい距離をスピードを出して泳ぐ事が肝要だと想ひました、又練習の時には緊張して居らなければならぬと云ふ事を感じました、泳ぎは泳ぐ前の精神に依つて甚しく苦勞するか、又苦勞せないかと云ふ事が言へると想ひました。

“此の合宿にて得た體驗を今後長く長く實行せたいと想ひます”

加藤 久雄 (袋井商)

此の度の如き合宿練習には既に 1、2 回經驗はありますが未だしつかりと馴れ切つてゐないので興味と疑問とを抱いて臨みました、發會式の時の川合先生のお話の模様では非常に固苦しい生活の様で有りましたが馴れてしまへば却つて僕等の様な學生にとつては修養になつて終りには感謝の念を抱く様になりました。時には諸先生方が不満を抱かせる様な行をした時も度々有りましたがお許し下さい。此れを機會としてしつかりと改める覺悟でゐます。

次ぎに練習に付いては本年度最初の練習なので調子も他も解らず唯自分の力の限り、又指導員の言葉の儘に泳ぎました、しかしタイムを見ると、最初の自分にとつては餘りにも良過ぎるタイムが出た様に思ひます。此れも後になつて考へて見れば宿諸先生方の熱ある御指導のお蔭だと思ひます。

又此の合宿に於て受けた總ての教訓を水泳期間のみならず一生を通じて充分に發揮し此の合宿練習を最も意義有るものに致したいと思ひます。

御恩の幾分なりとお返しするつもりです。

最後に幾重にも幾重にも諸先生方の御指導を感謝致します。

重山 孝 (加治木中)

私は此の合宿を終るに當りて所感を述べたいと思

ひます。吾等は一寸した事でもそれを年中やり通す事はむづかしいものである。例へば毎朝冷水浴をやるにしてもそれは、一寸したやれば誰でも出来る事ではあるがそれを年中やり抜く事は一寸出来兼ねるであらう。今まで自分の學校で不規律な合宿をやつて來た私は此度の合宿練習をやつて、私にとつて得る事が多くあつた事を信じます。何の爲の合宿であるかと言ふ事を考へてみるに、良い技術を作る事も大切であらう。然し私はそれだけでは合宿の意味をなさぬと思ふ。何の爲に規則正しい練習をやるのか。それは吾等をして何でも自律的にやり、求める人間を養成するためのものではないかと思ふ。私の學校の合宿には一日の日課はあつたが、吾等はそれを始の中は其の通りにやつたが、最後まで續けなかつた。それは合宿の意義を意識してゐなかつたからである。技術だけに氣を奪はれて、精神の修養と言ふ事を忘れてゐたのである。吾等は此の合宿で世界的選手と一緒に泳ぎ、フォームの研究をして技術に於て得る處が澤山あり又先生の話を聞いて人生に關する知識も増した事を信じます是等を思ふ時に今回の合宿が私に及ぼした影響は實に偉大であります。私は今後、自分の學校に於ける合宿も此の様な方法でやるべきである事を痛切に感じた。此の合宿には全國から選手が來てゐる、他の選手も私と感同じうした事と思ふ。此の様な合宿が全國の各中等學校でなされる事になれば、此の合宿の價値が全國に普及するのである。是は齋藤、川合兩先生始め大學選手の方々が我等を良く指導して下さつた賜であると信じます。私は是等の方々に對して厚く感謝する者であります。齋藤、川合兩先生始め、大學選手の皆様、永い間、熱心に御指導して戴いて誠に有難う御座居ました。

田中 一男 (沼津中)

二週間に亘つた規則正しく、愉快でもあり、苦しくもあつた合宿練習も終りだ。

此の長くも短かくも感ぜられた二週間の合宿練習頑張つても頑張つても皆に追付いて行けなかつた自分は實に辛かつた。實に疲れた。

然し、規則正しい日々の生活は自分に新に元氣を起して呉れたと思ふ。

又、毎日僅々一時間の内に行はれた緊張した練習は學校に於てだらだらと練習してゐた自分に取實に良い經驗であつた。

既に母校のプールに於ても練習の始められてゐる事であらう、自分ももうすぐ此の練習に加はるの

だ、今迄に修養された此の精神で母校の練習に加はらう。

妙中要造 (伊都中)

此所へ来た當初は昨年の試合氣質が出て變な氣持になつたが少時すると皆と親しんで語り合ふ様になりました。最初 2、3 日の練習は水に馴ない爲に少し泳いでも苦しくて苦しくて仕方がなかつたが 1 週間程もするとさう苦しくない様になりました。而し先生からフォームが一番悪いと聞かされた時は少からず落膽としました。それで此の 2 週間の練習では非でもフォームの一點でも完成しようと決心致しました。先づ先生に云はれた様に軀を伸ばす事に注意しましたがバタ足をやる時等は水が鼻口眼に入つて大へん苦しかつた。そして此の苦痛は今迄自分の練習に於ける最も苦しかつた事と思ひました。然し段々馴れて来てさう苦しくない様になりました。その上齋藤、川合兩先生が御熱心に指導下され實地指導員の方々が手を取り足を取る様に丁寧に導き下され本當に有難く思ひました。過去に於て世界選手と覇を争ひその勇名を世界に轟かした方々が少しも誇る處なく先輩の方の云はれる事を良く守り謙讓の徳を發揮する點に於て吾々に模範を垂れて下さつた事は非常によき經驗を得たと思ひました。今後は故郷へ歸つても此の 2 週間によつて教へられた事をよく守つて將來日本水泳の爲頑張る覺悟であります。此の週間毎月禮儀正しく愉快に送らせて頂いた事から感謝致して居ります。兩先生並に實地指導員の方々の御健康を御祈りします。

山下欣一 (濱松一中)

規則正しき合宿もこれで二回目を無事終了しようとしてゐる。思へば昨年の縣下選抜の練習に得た經驗により、今度の宿舍での生活は案外樂な氣持でゐられる。

練習としても基礎的だつた濱松と今度の練習とは種々の點で異つてゐる。

自分としては眞面目に泳いだ積りだが、體の調子悪く少し先生に小事を頂戴したが仕方が無い。自分が悪かつたのだから。

今後は川合、齋藤兩先生の言葉及び大學の諸先輩の言を守り努力する覺悟だ。

最後にこの合宿練習の爲に凡ゆる援助をして下さつた方々に感謝すると共に吾々も水泳界に貢獻することを誓はなければならない。精神的にも肉體的にも意義深い合宿だと思つづく感じた。

吉田 勇 (和歌山商)

二週間の合宿が終つての私の感想は今まで泳ぎを先輩に聞き或は本を読み、寫眞を見たりして自分で氣のついたものを行つて来たもので、我流であつたが、今度の合宿練習には世界的の選手を指導員として、私達の練習には一緒に泳いで御指導下さつたので、私は初めて本當の良い泳ぎを體驗する事が出来ました。私は合宿が終つても學校に歸つても、一所懸命合宿で練習したのものをもつともつと研究して、聯盟が私達の爲に御期待下された御期待の萬分の一にでもそふやうに務める決心であります。

梅村米江 (楢山女)

光陰矢の如しと申します通り、2 週間の合宿練習もはや夢の様に過ぎてしまひました。苦しい一時もあり、又樂しい日もありました。私にとつては初めての合宿練習でしたが、ほんとに有効な 2 週間でした。思へば此の 2 週間は規律正しい 2 週間でした名古屋では毎日きつい練習をやられるので熱が出そうでした。

その點に於ては、ほんとにやさしいと思ひました 1 日中一番嬉しい時は、午後の練習がすんだ時ですこの時の快よい氣持ちは何と云つてもよいかわかりません、そしてうれしさがこみ上げて來ます。又一方プールに行くと、急に御腹がグーグー鳴つて、チクチク痛み出し、地獄のどん底につき落された様な氣がします。しかし 1 回 1 回泳ぐ度に何とも云へぬうれしさが出來て來ます。合宿所に戻つて來てお手紙の來てゐるのもうれしさの一つでした。

谷口美代子 (京二條女)

毎日の日程は非常に規則正しくほんとに有効な 1 日が送れたと思つてゐる。朝・晝・晩の 1 日 3 度の練習は非常に苦しく殊に合宿所を出發する時には何とも云へない氣持になり何時もの勇氣は何處かへ消えた様な氣がする。然しそれは一時の氣持で 2 列に整列して新鮮な甲子園の空氣を呼吸しながら行進する時にはそれ等總てを忘れて元氣潑刺たるものになる。

練習は短時間に次から次へ泳がされた、その點は學校での練習とは違つて苦しいものだが効果があるやはり“艱難汝を玉にす”と云ふ言葉もある様に練習にはこの様なみのある練習が一番よい今後はこの練習法により練習したいと思つてゐる。

練習上フォーム上の諸先生方の大切な御注意は選手生活をしてゐる限り忘れる事の出来ない事項でこの様な熱心なる御指導を週間も受けて心から感謝しなければならない。

この御恩に報いる爲今後は何時も明るい希望を持つて層一層熱心なる練習を積まうと思つてゐる。

古田 つね子 (中泉女)

冬中体操もしく過した私は半ば不安な氣持で合宿に参加致しました。

1日1日と練習が続くにしがつてだんだん朗らかになつて来た合宿生活、苦しい時泳いでガラガラとした時、皆の朗らかな顔、愛國行進曲を聞くとそれらの疲れはふつとんでしまつたのでした。

夜の諸先生のお話はほんとに、自分にはよいよいお話でした、先生達の永い苦心の御練習ぶりをお聞致しまして、まだまだ自分の努力のたりない事を知り充分な練習をする覺悟でございます。

合宿の規律正しい生活、朝の皇居遙拜など1日の練習を始めますに、充分な氣力を私にはあたへてくれました。

此の楽しい生活もあと2日でお別れです此の様な合宿生活を再び持つ事を切に希望すると同事に國に歸りましても諸先生の御努力をむにしないう様努力する覺悟でございます。

南里 千 瑳 子 (兵庫縣一女)

合宿の始まつた頃は未だ櫻の蕾も小さく固まつてゐたのに此の間の雨で一邊に開いて終つた。想ひ起して見ると第一印象があんまり良くなかつたせいか時々家へ歸りたくなつたがまあ無事で合宿を過して来た。集合して男子の合宿所で晝食を頂くなり宿所へ来てすぐプールへ行き、水を大分吞んで400を泳いだ、生れてこの方そう澤山は400と言うものを泳いだ事が無いから随分つらかつた。夕飯を食べて、硬くて薄つぺらなお布團たつた一枚を體にしつかりくつきつけてブルブル震えた時にはお家戀しさに泣きたなくなつた。こう言う合宿がとても厭うだけども本當はそうじゃあ無い、體がだるいとか息がくるしい時だけのお八ツやレコードかける時や、らん廻しをする時はうれしくて仕方が無かつた。それから先生に注意せられても體が自由に動かなかつたりせきが出て苦しくて泳げない時は目の前を泳いでゐる人の足をつかんでやりたい程くやしくて泣きたくなるが自分の想つた通りに泳げた時はもつともつと泳ぎたいと思ふ程うれしい時もあつた。

此の合宿の結果として何んな効果を得たかは分らないが規律正しい生活と充分な運動は私の性格の破を變えてくれたと思はれる。

中山 絹 子 (徳島女)

自分はC級だからと云ふ觀念が頭にありますので他の人より一層一生懸命にそしてひかへめにと思つてゐましたのに何だかその反對の結果に終つた様な氣がします。

でも練習は熱心にしたつもりでした。

私としましてはこの合宿に加へて頂いた事を衷心から喜んでゐます。

でありますからこの合宿が後になつて何等かの効果をもたらさなかつたと云ふのはいけないと思つて練習は眞面目にやつて来た事は自分でもうれしく思つてゐます。

この合宿で練習の大切な事團體生活の長所が分つた様な氣がして本當に澤山教へられる所がありました。

この様な合宿生活に幾度も幾度も堪へる事によつて本當のスポーツマンシップが養はれるのではないでせうか。

苦しい苦しいと思つた練習も後になつて考へると楽しい思ひ出となります。

本當に楽しかつた合宿こゝまゝ皆様とお別れするのが惜しい様な……

最後に本當に先生方にお世話をかけた事をおわび致しますと共にこれからも一生懸命練習にしてお骨折下すつた先生方の御努力にお報ひしたひと思ひます。

松 村 昶 子 (山 口)

伯林オリムピック出發前の合宿に参加した以外、合宿といふ氣分を知らない私は、春休みに合宿があると聞き、又4ヶ月の楽しい苦しい旅を續けた方々とも御目にかゝる事が出来ると思ふと、とても待遠しく今度の合宿には勇躍参加いたしました。隔日に1日3回の練習「いやだなア」とは思ひましたが、これがオリンピックで立派な成績を現はす礎になると、深く深く考へて頑張りました。

三 鬼 百 合 子 (土肥女)

我儘な私を始めから終りまでかわりなく皆様がよくお導き下がりましたことを深く深く感謝してゐます。

畝川さんが足をいためられて一緒に練習出来なか

つた事は非常にざんねでした。

こん後は一心に練習して大いにやります。

三浦ハナ子 (横濱高女)

合宿へ来て先ず驚いた事は、最初からもう四百も泳がされた事である、で四百も続けられるかしらと心配したが、どうにかこうにか泳ぎついたけど、皆よりもずーと後れてしまつて悲観、でも最後まで泳いだ事はとても嬉しかつた。それから皆がとても頑張る事で幾らついて行つても、横濱で呑気に練習してゐた私には到底ついて行けないばかりか、水をガブガブ、毎日の練習で水を呑まされない時は無い位である。とても苦しくて辛くて、プールへ行くと必ずお腹が痛くなつてしまふから不思議である。合宿で嬉しかつた事は横濱で呑気に泳いでゐた私には好い経験になりました。プールより上つて来て體が痛くなるまで頑張つた事がなかつたんですから。横濱へ歸つてもボカンと今までの様に遊んでゐないで一生懸命に練習しようと思つてゐます。

村尾充子 (長崎高女)

合宿に於て技術的には勿論精神的にも大いに得る所があつたと思ひます。一つの楽しみの前には必ず苦しい事がある、皆んな元気で張り切つてゐて、東京オリンピックには或る力強さを感じました。

必ず帝都の空高く輝く日章旗が全國民の待望の内に新女性の力に依つて擧げられると信じます。

村岡雪華 (關西女水)

自由に一人で規則なしに勝手な泳ぎをして來ました私にとって、時間的な合同練習は、豫期しては居りましたが緊張し過ぎた故か苦しいばかりで、思ふ様に手足が動かさず而もベストを盡して泳ぐ、元氣一杯の練習をする潑刺とした氣持を持つ事が出来ませんでした。

それにつけ、この合宿でS先生を始め、T先生諸先生の誠實な力のこもつた勵ましの御言葉なり、練習法を聴かしく戴く度に『まだまだ、私の心の底には苦しみから遠ざからう、遁れ様と云ふ意氣地のない、自分ながら情ない氣持』があるのを、厭でも強く認識せずにはゐられませんでした。私はこの合宿練習に於いて、技術的には勿論精神的に會得する事の大きかつた事を切實に感じ、嬉しかつた練習も自己の修養の、大いなる鞭になつた事を心から喜ぶもので御座います。これからは『苦あれば樂あり、苦しんでこそ、大いなる喜びが訪れ來るのだ』の信念で泳がして戴く覺悟でございます。

關東に於ける三つの合同練習

松澤一鶴

關西に於て中等學校選手及女子選手の合宿練習が行はれて居る春季休暇中に關東では三つの合同練習が相亞いで舉行された。オリンピック東京大會の事を考へるとちつとしては居られぬ選手諸君の心持がよくわかる。

一つは關東水泳協會並に横濱水泳協會の女子部の人達を中心となつて、東京府立第六高女の室内プールを利用しての女子合同練習であつて3月25日から4月3日までの10日間開催されたものであつた。Bクラス選手は皆大阪へ行つて居るので集る人達はCクラスの女子選手及その他の有志であつて、競泳が約30名飛込が約10名。現在の關東としてはBクラスの人達も少い折柄、實は之がその全精鋭であると云つて差支へない。

規則正しい練習方法を研究する事を主旨に熱心に講義(松澤)、補助體操(原日出子)水泳(各役員)の各コースを飛込(林悦子)と交代に、嚴肅な規律の下に張り切つて行ひ、途中では1日文部省へ「國民皆泳」の指導映畫を見學に行く等將來の成果を期待出来る有效な練習であつた。4月3日の午後には終末テストとして、タイムレース會を舉行したが自由形100米で飯島(六女)の1=17.0.を始め何れも此の時期としては思ひがけないよい成績を得た。飛込選手も獨特の基礎練習に磨きをかけた。

續いて4月5日から20日までの三週間、東京帝大プールに於て關東學生聯盟が主催で學生競泳飛込選手の合同練習、尙引續いて4月21日から30日までは學聯水球の合同練習が行はれた。此等は全く學生の自治に依つて行はれ、當番校役員が交代で監督の任に當つた。前者の申込みは早、慶、日、立、明の一流校が新人までを加へて全員7、80名に垂んとする多數であつて、狭い室内プールでは練習する事が出来なくなる位の盛況であつたが、その内に各校夫々の練習計劃が始められる様になつてからは、日大、立教の2チームが最も熱心に且多數參加した。そして終末の記録會でも此校が別項記事の通り非常に立派な成績を示した。殊に天野、鷺谷、阪本

谷口、門屋、平野、大浦等の新人諸君が元氣であつたのは此の秋のインタカレヂの緊張さへ豫想されて心強い限りであつた。飛込も慶早明日等の人達が連日猛練習を行つた。

水球合同練習は學聯の水球加盟校より1校に付2名宛の代表者を選出せしめ、18校36名が毎回参加し、それにナショナル・チーム全員が加はり、古莊次平君を中心として、東京オリンピックを1ヶ月後にでも控えて居る様な心持で練習した。

以上三つの合同練習は夫々形式は違つて居つたがその熱心な心からの猛練習は恐らく來るべきシーズンは豫期通りの大きな影響をもたらす事であらうと確信する。

2 加藤 (立大) 3:02.0
3 堀川浩一 (日大) 3:24.8

關東女子合同練習會

日誌

須藤光代

(日誌は出席した女子委員が交替して書いたものをそのままうりました)

3月25日 (金)

水温 21.5度 室温 18度

關東女子合同練習會第1日を迎へて、第1番に意外にも多數の参加者を得る事が出来た。

全人員29名を本日受附けた。

9時30分全員プールの前の運動場に集合し、9時50分頃雨天體操場附の小室にて、松澤先生の御注意及び水泳に對する色々の御話を聞きそして春季合同練習會に於いて各自の根本の泳ぎ方から作り上げる様に……とのお話でした。

10時30分より自由練習を初めた。第1日目である爲、あまり澤山泳ぐ事をやめた。各自150米を2回位、後は好むだけにて止めにし、12時には全部上つた。

3月26日 (土)

水温 22度 室温 18.2度

追参加者 5名

9時30分より水泳の姿勢と水を捕へて搔く要領に就いて、松澤先生のお話を伺ふ。

10時より、原日出子さんの號令で水泳體操。

10時30分より、水泳練習。まだあまり規則だつた練習は出来なかつた。各部にわかれ、それぞれ600米位、先づ200米、200米、50米の三度位。

3月27日 (日)

水温 21度 室温 18度

追参加者 6名

9時30分、松澤先生はこれより7分も早くお顔を拜見する事が出来ました。参加者も皆時間正しく集ります。時間通りきつちりに、先生のお話を伺ふ事が出来て大變嬉しく思ひます。

先生のお話は、前日の續きとして、水泳には先づ足を強くする事によつて泳ぐといふ事が出来る。そして其の足を強くするには姿勢を良くして、最も足を水中にてよく働く位置に置く事である。それから

合同練習記録會

1938—4—20

於 東京帝大水泳場 (25 m)

100 米自由形

1 森原幸彦 (日大) 1:05.2
2 中村岩太郎 (日大) 1:05.8
3 森田正真 (日大) 1:06.0

200 米自由形

1 栗原徹 (日大) 2:21.9
2 平野亮 (日大) 2:28.6
3 岩切 (立大) 2:28.6
4 馬場止 (日大) 2:28.6

400 米自由形

1 天野富勝 (日大) 5:03.3
2 本間俊夫 (立大) 5:04.8
3 越戸優一 (日大) 5:17.0
4 伊藤憲利 (日大) 5:24.8

100 米背泳

A

1 鷺谷光明 (日大) 1:11.2
2 谷口利弘 (日大) 1:11.8
3 原保夫 (日大) 1:16.2

B 坂本昉一 (立大)

1 門屋桂 (立大) 1:12.2
2 平賀孟 (立大) 1:12.4

200 米平泳

A

1 田口實 (日大) 2:53.4
2 葉室貞男 (日大) 2:59.4
3 林田睦夫 (日大) 3:08.6

B

1 大浦誠一郎 (立大) 2:49.2

足が良き位置に置かれたら、最も良き方法で水に働きかける。

それには關節を出来るだけやはらかにする。又、ブレストのお話として、體の中心に心棒を通して之にそつて運動する氣持で泳ぐ。ブレストに於いて特に大切な事は、手、足の運動關係は互ひに相反するが、手の運動と足の運動は常に連續運動であるといふことでした。最後に、足の練習をするのにプールのふちへつかまつて行ふのは、良い結果が得られないから板等を使用して行ふか、又は浮身をとりながら行ふのがよいとの事でした。

10時より體操、10時30分から水泳練習、練習は昨日よりは一層良きものでした。一日、一日と泳ぎが身について來るのがよくわかります。今日から板を使用して、足の練習も加へました。

3月28日 (月)

水溫 20度 室溫 16.5度

雨で缺席の多い事を豫想して居りましたが、缺席は案外に少なく9時30分より松澤先生の御話を伺ひました。お話は昨日のお講義後の、練習の結果の共通な缺點についての御注意でした。

10時から體操

10時30分から水泳練習

ウォーミングアップ 200m

ロング 相當にシめて 200m

ピーティング 100m~150m

ロング 300m

後は各自12時まで自由に泳ぐ。

雨の爲にか水溫、室溫共に下つた事が大分影響したらしく、中途でお風呂への突進がはげしかつたけれど、割合によく練習して下さいました。

3月29日 (火)

水溫 20度 室溫 17度

松澤先生より主として、足についてのお話を伺ふ。體操の時間まで喰込んで、御熱心に御説明下さる。

體操の時間少なかつたが、今日はそれでも水泳體操の外に、腹筋の體操と肋木體操を加へた。又集合時間より早く來てゐる人々の爲に、今日から繩飛びの用意をして今日から實行した。

10時40分より水泳練習を開始。

今日は午後から「國民皆泳」といふ映畫をみにゆべく爲に、なるべく早く上げる様にしたので完全に練習出来なかつたやうに思はれる。その上少々なれてきたせいか、勝手な行動を取る者もゐた。明日から少し注意ませう。

午後1時文部省前に集合。松澤先生につれられて試寫室に入る。非常に参考になつたと思ふ。

1時45分散會す。

3月30日 (水)

水溫 21度 室溫 18度

今日から飛込と入替つて、時間割が30分早くなつた。

今日は松澤先生のお講義はありませんでしたが、練習が少し飛込の方へ時間が喰込んで、11時15分頃終りました。

3月31日 (木)

水溫 20.5度 室溫 18度

追參加者 1名

皆調子が出て來たやうで、練習にも張りがあつてこの合同練習の効果が目に見えて上つて來た事をうれしく思ひます。この分では三日の練習會にはよい記録がどんでんする事でせうと、たのしく期待されます。

4月1日 (金)

水溫 20.5度 室溫 17度

追參加者 1名

補助體操の方も今日で皆一通り行ふ事が出来、練習の方も、とても元氣で張切つてみえますので大變に愉快でした。皆知らず知らず愉快に練習をして下さいますし、時間の關係で餘り澤山は出来なくても泳ぐ事を心から楽しんでゐるといふ事が感じられ、この事がこの合同練習の最も大きな收穫をなすものだと思ひます。

4月2日 (土)

水溫 20.5度 室溫 18度

何時もの通り體操をやり、9時30分より練習を始める。途中で松澤先生がお見えになり平泳、背泳の人を一人づつの御批評がある。自由型の方は時間がないので明日にまはす。

4月3日 (日)

水溫 20度 室溫 18度

合同練習會最後の日として、今日は午後より記録會を致しました。然し、午前中は例の如くの練習を行ひました。先づ今日は屋外の芝生で……お天氣がよくて大變氣持よく體操をする事で出来ました。それからプールで例の通りにウォーミングアップより始め、ロングはやめて少し長さを短かくして、力を入れて泳ぐ事にしました。後は昨日に續いて松澤先生にフォームをみていただく。これは自由形だけ残つて居りましたので、背泳、平泳の練習のかたはらこれを續けました。

10時10分 午前中の練習を終へ、選手の休憩時間を作りました。

午後1時より記録會を開きました。

プログラムの變更が多くて大變困りました。参加者の中に出場せぬものが相當あつたのは残念ですが、春の練習である上に、わづか十日間の練習ですから止むを得ない事と思ひました。

成績は春期のものとしては、随分よい記録もありましたし、今まで競技會に出場した経験のない方もありましたので、全體としてみても悪い方ではないやうに思はれます。

午後3時半無事に練習會を終へ、春季合同練習會を閉る事が出来ました。

最後にこの十日間の練習會に御多忙の中を、毎日私たちの爲に御指導下され、御甚力下さいました松澤先生に厚く御禮申上げます。私達未熟な者にとつては色々御指導下さつたり、御注意いたゞく事が非常に心強く存じます。甚だ微力で先生の御考への萬分の一も實行出来ませんでした。しかし私達は或信念を持つて練習に望む事の出来たよろこびを感謝して、重ねて御禮申上げる次第でございます。

又練習會の折は多數水上聯盟の方々御力添へいたゞき、大變嬉しく誠に有難うございました。

終末練習會記録

期日 昭和13年4月3日

於 東京府立第六高女プール

1 200 米繼泳

- | | | | |
|---|----|--------|--------|
| 1 | A組 | ルイズ、矢田 | 2:32.4 |
| | | 大倉、飯島 | |
| 2 | B組 | 光永、森岡 | 2:35.0 |
| | | 石丸、佐々木 | |

2 200 米平泳

A 組

- | | | | |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 吉田 壽子 | 横濱高女出 | 3:41.4 |
| 2 | 土屋 鶴代 | 平塚高女 | 3:53.4 |
| 3 | 大塚 英子 | 順心高女 | 4:09.4 |

B 組

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 平野 文子 | 横濱高女 | 3:57.4 |
| 2 | 福永 陽子 | 横濱高女 | 4:06.8 |
| 3 | 岩崎 二三江 | 日本女商 | 4:18.0 |

C 組

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 齋藤 房枝 | 日本高女 | 3:57.2 |
| 2 | 吉村 とり子 | 横濱高女 | 4:29.0 |
| 3 | 鈴木 秀子 | 順心高女 | 4:47.8 |

(折返に反則ありて失格)

3 50 米自由形

- | | | | |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 大倉 保子 | 日本橋高小 | 40.6 |
|---|-------|-------|------|

- | | | | |
|---|--------|------|------|
| 2 | 矢田 巴 | 横濱高女 | 42.0 |
| 3 | 石丸 フミ | 横濱高女 | 45.4 |
| 4 | 飯塚 登起枝 | 銚子高女 | 45.8 |

4 50 米背泳

A 組

- | | | | |
|---|--------|------|------|
| 1 | 佐々木 信子 | 平塚高女 | 45.2 |
| 2 | 近藤 貞子 | 横濱高女 | 52.8 |
| 3 | 鹽津 すみ子 | 横濱高女 | 53.0 |

B 組

- | | | | |
|---|--------|-------|------|
| 1 | 佐々木 和子 | 平塚高女出 | 42.4 |
| 2 | 吉田 文代 | 千代田高女 | 42.8 |
| 3 | 大瀧 キミ枝 | 麴町小學校 | 48.0 |

5 100 米自由形

A 組

- | | | | |
|---|-------|-------|--------|
| 1 | 飯島 富子 | 府立第六 | 1:17.0 |
| 2 | 光永 和子 | 常盤松高女 | 1:25.2 |
| 3 | 大倉 保子 | 日本橋高小 | 1:36.0 |

B 組

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 森岡 恒子 | 女子體專 | 1:21.2 |
| 2 | 佐々木 信子 | 平塚高女 | 1:27.2 |
| 3 | 飯塚 登起枝 | 銚子高女 | 1:44.0 |

6 飛 込

7 100 米平泳

A 組

- | | | | |
|---|--------|-------|--------|
| 1 | 吉田 壽子 | 横濱高女出 | 1:45.6 |
| 2 | 平野 文子 | 横濱高女 | 1:51.6 |
| 3 | 鈴木 秀子 | 順心高女 | 2:08.8 |
| 4 | 鈴木 千鶴子 | 實踐高女 | 2:10.0 |

B 組

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 齋藤 房枝 | 日本高女 | 1:49.0 |
| 2 | 福永 陽子 | 横濱高女 | 1:54.2 |
| 3 | 岩崎 二三江 | 日本女商 | 1:57.4 |

C 組

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 土屋 鶴代 | 平塚高女 | 1:52.6 |
| 2 | 大塚 英子 | 順心高女 | 1:52.8 |
| 3 | 吉村 とり子 | 横濱高女 | 2:01.4 |

8 100 米背泳

- | | | | |
|---|--------|-------|--------|
| 1 | 吉田 文代 | 千代田高女 | 1:35.4 |
| 2 | 佐々木 和子 | 平塚高女出 | 1:37.8 |
| 3 | 大瀧 キミ枝 | 麴町小學校 | 1:50.0 |

9 200 米自由形

A 組

- | | | | |
|---|-------|------|--------|
| 1 | 飯島 富子 | 府立第六 | 3:01.8 |
| 2 | 森岡 恒子 | 女子體專 | 3:04.2 |

B 組

- | | | | |
|---|-------------|-------|--------|
| 1 | ルイズ、ステイルウエル | 横濱水協 | 3:20.0 |
| 2 | 光永 和子 | 常盤松高女 | 3:20.6 |
| 3 | 矢田 巴 | 横濱高女 | 3:43.0 |

10 150 米混成繼泳

- | | | | |
|---|----|-----------|--------|
| 1 | A組 | ルイズ、吉田、大倉 | 2:16.4 |
| 2 | B組 | 吉田、齋藤、矢田 | 2:16.6 |
| 3 | C組 | 佐々木、土屋、石丸 | 2:18.0 |

聯 盟 議 事 録

常務理事会 13年3月23日 於事務所

1. 女子クラス標準時間変更 委員会原案通り決定
2. オリンピック組織委員会総務委員会に水上を代表して奥野良氏を出席せしむる事としその手続は田畑政治氏に一任。
3. 常務理事会その他の會合にも白山源三郎氏の出席を乞ひ組織委員会と實質的に連絡を取る事
4. オリンピックプール建設を速進せしむる爲め東京市構築委員会と緊密な連絡を取る事とし、松澤氏を其の擔任とし野田主事をして、松澤氏を鞭撻せしむる事。

理事會 13年3月30日 於事務所

1. 堀一郎氏より3月13日のプール公認委員会の報告あり左記三つを公認プールに決定す。
公認第七十五號 土肥女學園プール 50米 廣島
公認第七十六號 清水商業プール 50米 静岡
再公認 神戸御大典記念市民運動場プール50米 兵庫
2. 公認測量者決定 白杵體育協會 市橋一雄氏
3. 水球コーチに關する大連安部氏よりの報告（フロイント氏に關する）に付き、意見交換の後、獨逸よりの招聘も考慮に入れ岡田委員長、安部兩氏間にて適當に處理する事
4. 松澤氏よりオリンピックプール其の他に關し報告あり。

常務理事会 13年5月4日 於事務所

1. 男女中等學校選手甲子園合宿練習會の報告 齋藤氏。
2. 競泳飛込選手の帝大合同練習會の報告 齋藤氏
3. 關東女子選手の府立第六高女プールに於ける合同練習の報告 松澤氏。
4. 指導者協會成立に關する報告 松澤氏。
5. 指導研究會成立に關する報告 松澤氏。
6. 小學校教員大會並に講習會に關し文部省との交渉經過報告 根來氏。
7. 中等學校大會の關西豫選區中より九州地方を獨立の豫選區とする件に關する關西學聯並に九州當事者との交渉經過報告 藤田明氏。
8. 松山中學校プールを第七十七號公認プール50米愛媛と決定承認。
9. 昭和13年度強化費決算報告書（大橋名譽會計案）を承認す。
10. 水球コーチの件と FINA の要求（東京大會に

役員招待）の件一括して田畑政治氏に一任す。

常務理事会 5月11日 於事務所

1. オリンピックプール設計圖に付き種々協議す。
2. 大阪水泳協會日本選手權準備委員會提出の昭和13年度日本選手權大會要綱を協議し、詳細は次回に決定する事とす。
3. 遠泳に關し5月10日熱海市長と會見の様様を野田名譽主事より報告あり。

常務理事会 5月18日 於事務所

1. 大阪水泳協會より送付し來れる昭和13年度日本選手權大會要綱案に付き左の通り協議決定す
A 前年度選手權保持者へ旅費支給の件中に（水球は7名分）と附記する事
B 日本中等飛込競技會決勝3位迄に選手權出場資格を附與す。

以上の外全部原案通り可決決定す。

2. オリンピック組織委員会競技部より回附の競技施設委員会へ提出すべき室内競技場に關する本聯盟の希望條件に付き協議し、競技部提出方を松澤一鶴氏に一任す。
3. 5月16日の指導普及委員會の協議事項を松澤氏より報告あり。
4. 指導者講習會は例年通り7月1日より國民體育館プールに於て實施。
5. 遠泳に關しては野田、小林（高）佐々木、原、栢原五氏の小委員会にて協議し立案の上實施す。

永井總長招待 兼 理事會

5月24日 於丸の内中央亭

1. 永井總長より、カイロ會議並にドナート氏との會談の様様に付き説明報告あり。
(イ) 水上競技スケジュールに關しては FINA のハンドブックと對照して後總長に報告する事とす。
(ロ) 水上競技開始、出來得る限り繰上げて開始を要求。
(ハ) オリンピック練習プールとして既存のプール三ヶ所に濾過保温裝置をしてもらう事。
(ニ) その他種々懇談、8時半終了。
引續き理事會を開催。
2. プールの公認
公認七十八號 今治中學プール25米 愛媛
再公認二十三號 三重高農プール25米 三重
公認七十九號 川崎各務原プール25米 岐阜

3. 高知縣體協公認測量者 深谷俊明氏 鐵道省大臣官房研究所轉勤に付き、本聯盟建設委員委囑に決定す。

4. 指導者講習會を厚生省と共同主催にて開催としたき旨、厚生省より申出あり、申出通り決定す。

以 上

聯 盟 日 誌

昭和 13 年

| | | |
|----------|--|-------|
| 3 月 23 日 | 常務理事會 | 聯盟事務所 |
| 30 日 | 理事會 | 事務所 |
| 4 月 4 日 | 指導普及委員會 | 事務所 |
| 5 日 | 水泳誌 55 號發送ス | |
| 7 日 | 水球競技委員會 | 事務所 |
| 8 日 | 小學校委員會 | 事務所 |
| 9 日 | 學生聯盟飛込委員會 | 事務所 |
| 11 日 | 學生聯盟實行委員會 | 事務所 |
| 12 日 | 厚生省ヨリ獎勵金下附サル | |
| 14 日 | 水球規則委員會 | 事務所 |
| 15 日 | 飛込競技委員會 | 事務所 |
| 16 日 | 學生聯盟水球委員會 | 事務所 |
| 18 日 | オリムピック準備委員會 | 事務所 |
| 19 日 | 關東學生聯盟登録委員會 | 事務所 |
| 20 日 | 水球競技打合せ會 競技部競技場委員會委員トシテ本井功氏ヲ 選出通知す(飯田氏後任) 帝大プールで春期合同練習レコード會開催 | 事務所 |
| 21 日 | 水球競技規則委員會 | 事務所 |
| 25 日 | 競泳池公認委員會 | 事務所 |
| 27 日 | 指導普及委員會 | 事務所 |

| | | |
|---------|---|---------------------|
| 28 日 | オリムピックプール構築打合せ會 | 事務所 |
| 5 月 2 日 | 學生聯盟實行委員會 | 事務所 |
| 4 日 | 常務理事會 | 事務所 |
| 5 日 | 學生聯盟水球常務委員會 | 事務所 |
| 10 日 | 飛込競技委員會 學聯水球委員會 | 事務所 事務所 |
| 11 日 | 常務理事會 | 末弘會長邸 |
| 12 日 | 水球委員會 | 事務所 |
| 14 日 | 學生聯盟水球委員會 | 事務所 |
| 16 日 | 指導普及委員會 | 事務所 |
| 17 日 | オリムピックプール構築委員會 獨逸人水球コーチフロイント氏、五月末來 朝の電 大連の安部氏より來る | 事務所 |
| 18 日 | 常務理事會 | 事務所 |
| 19 日 | 競泳池公認委員會 | 事務所 |
| 20 日 | 學生聯盟登録委員會 | 事務所 |
| 21 日 | 水球競技委員會 | 事務所 |
| 22 日 | 飛込競技委員會 學聯水球委員會 | 事務所 事務所 |
| 24 日 | 永井總長 本聯盟理事懇談會 早慶對抗競技打合せ會 學聯水球競技小委員會 | 丸内中央亭 事務所 事務所 |

次 號 よ り

1. 各地加盟團體通信欄
2. 競泳。飛込。水球。水泳一般に
關する質疑應答欄

を設けることにしました。
6 月 20 日でメ切ります。

N. S. R. 編 輯 部

水泳ゴシツブ

藤田選手再起か？

何でも水球コーチに来たフロイント氏の熱心さは全くすばらしい。先日、早大プールで藤田學聯主事がつかまへられた。何、練習ができないつて？ 會社が忙しくても六時から九時迄は必ず出来る。それにその體では全く惜しい。責任者としてもそんな心掛ではいかんと倫理學の領域に迄コーチする。約15分間藤田さんプールの中にあつて困ること々々。

七十五ヶ所

何でも七十五ヶ所と云ふ天文學的數字の嚴重な體格検査をへて、航空術の練習生として合格した清水さん（外國關係委員）今の所滑龍雲を呼んで大空へ舞上つと云ふ形。それにしても吾々に検査すべき七十五ヶ所があるかと數へてゐたら、へその形迄取上げて追付かない。以來清水さんに會ふ毎に、完全なる標準型と思つて接してゐる。

果報な見物人

意外な時と場所で、とてもできさうにない事がひよつくり出来たりする。頭の上でボールの獨樂廻しができますか？ 5月22日早大對日大の水球戦が興奮と緊張の裡に行はれてゐる最中、バスされたボールが行き所に迷つて日大林田君の頭の上でしばらくくるくる獨樂の如く廻ひ廻つた。滅多にない事なので選手も觀衆も驚いて喜んだ。

實際降つた

飯田氏の話をかんな所に持つてくる無禮さを御許し願つて。何でも飯田さんは物をほめたことはない。全くないと云つていい。所が一昨年十月の理事會の時、優勝した小學校へ贈る楯の出来が餘りによかつたので之を見た飯田さん珍らしくも「こいつはすばらしい」とほめられた。居合せた一同明日の天気を心配したが、果して前日の快晴に引換へ翌日は土砂降りの雨となつた。（根來氏談）

松澤さん三題

一
どうも水上の松澤さんに似てゐる人だがと實際の松澤さんをとらへて乗客の私語——バスの中で——

二
東京驛で「松澤さん」と背後から呼びとめた人に何故松澤さんだと分つたかと問へば、背後から頬面のみえる人は松澤さんの外にゐないからねーと。

三
飯田さんが亡くなつてから、松澤さんは色々と親身になつて御世話されたので飯田家の親類の方が感謝の餘り「本當にたゞで動いてくれるものは地震と松澤さんの外にはない」としみじみ洩らされた由。人間味溢る松澤さんの尊い姿——理事會での話。

編輯後記

魚が煙草をひろつて吸つた

あぶない あぶない と云ふ間に

はて、こんがり焼けてしまふた。（林美美子氏）

○飯田氏追悼號へは末弘先生始め外皆様の玉稿をいただき感謝にたへぬ次第です。

己れを空しうして N. S. R の充實、發展に御盡し下さつた飯田氏の御高恩が今更乍ら身にしみるものがあります。

○今回新に指導者協會及び指導者研究會が創立されて、それに應じて新らしき二つの欄を設けた。より高いより優秀な、ピラミッドの頂上完成を目指しての所謂競泳主義選手主義に對して、此の二つの會の目指すものはピラミッドの底邊内至は無限性の土臺に向かつての組織化された全國的運動で殊に國民皆泳、健康資源涵養の線に沿ふ所、その有する意義、使命の大なるは論を俟たないと思ふ。

○次號は三大學對抗戦迄を一まとめにして六月中に出す豫定です。

○別記の如く、加盟團體通信欄、質疑欄を次號より新たに設けますので遠慮のない所、どしどし御投稿下さい。（次號メ切6月20日）（横尾）

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第56號

昭和十三年六月十二日納本
昭和十三年六月十五日發行

（日本水上競技聯盟代表）

編輯兼發行人 横 尾 清 吾

印刷人 米 田 眞 二

印刷所 改 洋 社
東京市豊島區巢鴨1丁目3番地

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す^{（1年前金豫約は送料不要）}

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番